

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	研究科等連係課程実施基本組織の設置									
フリガナ	コグリツダグイダクホシントウカイコグリツダグイダクホ									
設置者	国立大学法人 東海国立大学機構									
フリガナ	ギフダグイダグイダグイン									
大学の名称	岐阜大学大学院 (The Graduate school of Gifu University)									
大学本部の位置	岐阜県岐阜市柳戸1番1									
大学の目的	独創的かつ先進的研究の拠点として、知の創造と統合に努めるとともに、高度な教育を通してそれを継承発展させ、豊かな人間性と学識を養い、判断力と実行力及び構想力に富む人材の育成を行い、もって地域社会と人類の発展に貢献することを目的とする。									
新設研究科等の目的	地域が直面する各種の経営課題は広範囲にわたり複雑多岐に絡み合っており、将来的にはさらに複雑化、深刻化することが予想されるため、より広い視野とより高度な専門性に基づき、組織のリーダーとして課題解決能力を発揮する人材を養成する。									
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
	研究科等連係課程実施基本組織 社会システム経営学院 [Graduate School of Social System Management]	2	6	—	12	修士（経営学） [Master of Business Administration]	経済学関係	令和7年4月第1年次	岐阜県岐阜市柳戸1番1	14条特例の実施 【基礎となる学部等】 社会システム経営学環
	連携協力研究科（Ⅰ） 地域科学研究科 [Graduate School of Regional Studies]								岐阜県岐阜市柳戸1番1	【基礎となる学部等】 地域科学部
	地域政策専攻 [Department of Policy Studies]	2	13	—	26	修士（地域科学） [Master of Regional Studies]	経済学関係又は社会学・社会福祉学関係	平成13年4月第1年次		
	地域政策専攻から社会システム経営学院の内数とする入学定員数		1	—	2					
	地域文化専攻 [Department of Cultural Studies]	2	8	—	16	修士（地域科学） [Master of Regional Studies]	経済学関係又は社会学・社会福祉学関係	平成13年4月第1年次		
	連携協力研究科（Ⅱ） 自然科学技術研究科 [Graduate School of Natural Science and Technology]								岐阜県岐阜市柳戸1番1	【基礎となる学部等】 工学部 応用生物科学部
	生命科学・化学専攻 [Department of Life Science and Chemistry]	2	74	—	148	修士（応用生物科学） [Master of Applied Biological Sciences] 又は 修士（工学） [Master of Engineering]	農学関係又は工学関係	平成29年4月第1年次		
	生物生産環境科学専攻 [Department of Agricultural and Environmental Science]	2	44	—	88	修士（応用生物科学） [Master of Applied Biological Sciences]	農学関係	平成29年4月第1年次		

	生物生産環境科学専攻から社会システム経営学院の内数とする入学定員数		2	—	4				
	環境社会基盤工学専攻 [Department of Civil and Environmental Engineering]	2	32	—	64	修士(工学) [Master of Engineering]	工学関係	平成29年4月第1年次	
	環境社会基盤工学専攻から社会システム経営学院の内数とする入学定員数		3	—	6				
	物質・ものづくり工学専攻 [Department of Materials Science and Procession]	2	67	—	134	修士(工学) [Master of Engineering]	工学関係	平成29年4月第1年次	
	知能理工学専攻 [Department of Intelligence Science and Engineering]	2	91	—	182	修士(工学) [Master of Engineering]	工学関係	平成29年4月第1年次	
	エネルギー工学専攻 [Department of Energy Engineering]	2	72	—	144	修士(工学) [Master of Engineering]	工学関係	平成29年4月第1年次	
	岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻 [International Joint Department of Food Science and Technology between Indian Institute of Technology Guwahati and Gifu University]	2	10	—	20	修士(食品科学技術) [Master of Food Science and Technology]	農学関係	平成31年4月第1年次	
	計		—	—	—				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	(岐阜大学) ・医学部 医学科〔定員減〕 (△25) (令和7年4月) ※1 ・工学部 電気電子・情報工学科〔定員増〕 (20) (令和6年6月意見伺い) ・応用生物科学部 応用生命化学科 (58) (令和6年4月事前相談) 食農生命科学科 (59) (令和6年4月事前相談) 生物圏環境学科 (53) (令和6年4月事前相談) 応用生命科学課程(廃止) (△85) ※令和7年4月学生募集停止 生産環境科学課程(廃止) (△85) ※令和7年4月学生募集停止 ・地域科学研究科 地域政策専攻〔定員増〕 (1) (令和7年4月) ・自然科学技術研究科 生物生産環境科学専攻(M)〔定員増〕 (2) (令和7年4月) 環境社会基盤工学専攻(M)〔定員増〕 (3) (令和7年4月) 知能理工学専攻(M)〔定員増〕 (10) (令和7年4月) ・社会システム経営学院(M) (6) (令和6年4月事前相談) (名古屋大学) ・情報学部 自然情報学科〔定員増〕 (6) (令和6年6月意見伺い) コンピュータ科学科〔定員増〕 (8) (令和6年6月意見伺い) (3年次編入学定員)〔定員増〕 (2) (令和6年6月意見伺い) ・医学部 医学科〔定員減〕 (△7) (令和7年4月) ※1 ・工学部								※1 臨時定員増の延長がない場合

		電気電子情報工学科(M)〔定員増〕 (10) (令和6年6月意見伺い) 機械・航空宇宙工学科(M)〔定員増〕 (10) (令和6年6月意見伺い) ・情報学研究科 複雑系科学専攻(M)〔定員増〕 (8) (令和7年4月) 情報システム学専攻(M)〔定員増〕 (1) (令和7年4月) 知能システム学専攻(M)〔定員増〕 (11) (令和7年4月)							
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数				修了要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	社会システム経営学院	20科目	7科目	3科目	30科目	30単位			
研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の教員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新設	研究科等連係課程実施基本組織 社会システム経営学院	人	人	人	人	人	人	人	
	連携協力研究科(Ⅰ) 地域科学研究科 地域政策専攻 地域文化専攻								
	連携協力研究科(Ⅱ) 自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻 生物生産環境科学専攻 環境社会基盤工学専攻 物質・ものづくり工学専攻 知能理工学専攻 エネルギー工学専攻 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻	<3> 【3】 (6)	<3> 【2】 (5)	<0> 【0】 (0)	<0> 【1】 (1)	<6> 【6】 (12)	<0> 【0】 (0)	<0> 【3】 (3)	
分	計	6 (6)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	12 (12)	0 (0)	3 (3)	
既設	教育学研究科 教職実践開発専攻 (P)	32 【0】 (32)	15 【0】 (15)	0 【0】 (0)	2 【0】 (2)	49 【0】 (49)	0 【0】 (0)	24 【0】 (24)	
	教育学研究科 教育臨床心理学専攻 (M)	3 【0】 (3)	3 【0】 (3)	0 【0】 (0)	1 【0】 (1)	7 【0】 (7)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	
	地域科学研究科 地域政策専攻 (M)	7 【1】 (7)	6 【0】 (6)	0 【0】 (0)	3 【0】 (3)	16 【1】 (16)	0 【0】 (0)	10 【0】 (10)	
	地域科学研究科 地域文化専攻 (M)	7 【0】 (6)	6 【0】 (5)	0 【0】 (1)	3 【0】 (6)	16 【0】 (18)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	
	医学系研究科 医学科専攻 (4年制D)	35 【0】 (35)	28 【0】 (28)	5 【0】 (5)	0 【0】 (0)	68 【0】 (68)	0 【0】 (0)	178 【0】 (178)	
	医学系研究科 看護学専攻 (M)	6 【0】 (6)	9 【0】 (9)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	15 【0】 (15)	1 【0】 (1)	12 【0】 (12)	
	医学系研究科 医療者教育学専攻 (M)	6 【0】 (6)	4 【0】 (4)	1 【0】 (1)	3 【0】 (3)	14 【0】 (14)	0 【0】 (0)	18 【0】 (18)	
	工学研究科 工学専攻 (D)	73 【0】 (73)	43 【0】 (43)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	116 【0】 (116)	0 【0】 (0)	7 【0】 (7)	
	工学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハディ校 国際連携統合機械工学専攻 (D)	12 【0】 (12)	1 【0】 (1)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	13 【0】 (13)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	
	工学研究科 岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻 (D)	12 【0】 (12)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	12 【0】 (12)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	
	自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻 (M)	25 【0】 (25)	19 【0】 (19)	0 【0】 (0)	6 【0】 (6)	50 【0】 (50)	0 【0】 (0)	72 【0】 (72)	
	自然科学技術研究科 生物生産環境科学専攻 (M)	21 【0】 (23)	19 【2】 (17)	0 【0】 (0)	5 【0】 (7)	45 【2】 (47)	0 【0】 (0)	46 【0】 (46)	
	自然科学技術研究科 環境社会基盤工学専攻 (M)	13 【2】 (13)	10 【0】 (9)	0 【0】 (0)	2 【1】 (2)	25 【3】 (24)	0 【0】 (0)	45 【0】 (45)	
	自然科学技術研究科 物質・ものづくり工学専攻 (M)	18 【0】 (18)	16 【0】 (16)	0 【0】 (0)	4 【0】 (4)	38 【0】 (38)	0 【0】 (0)	74 【0】 (74)	
	自然科学技術研究科 知能理工学専攻 (M)	23 【0】 (23)	20 【0】 (20)	0 【0】 (0)	3 【0】 (3)	46 【0】 (46)	0 【0】 (0)	104 【0】 (104)	
	自然科学技術研究科	17	14	0	8	39	0	85	

分	目録付ナレッジ型 エネルギー工学専攻 (M)		【0】 (17)	【0】 (14)	【0】 (0)	【0】 (8)	【0】 (39)	【0】 (0)	【0】 (85)	
	自然科学技術研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハディ校 国際連携食品科学技術専攻 (M)		14 【0】 (14)	8 【0】 (8)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	22 【0】 (22)	0 【0】 (0)	13 【0】 (13)	
	共同獣医学研究科 共同獣医学専攻 (4年制D)		16 【0】 (16)	11 【0】 (11)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	27 【0】 (27)	0 【0】 (0)	18 【0】 (18)	
	連合農学研究科 生物生産科学専攻 (D)		20 【0】 (20)	7 【0】 (7)	0 【0】 (0)	6 【0】 (6)	33 【0】 (33)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	
	連合農学研究科 生物環境科学専攻 (D)		16 【0】 (16)	19 【0】 (19)	0 【0】 (0)	4 【0】 (4)	39 【0】 (39)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	
	連合農学研究科 生物資源科学専攻 (D)		28 【0】 (28)	30 【0】 (30)	0 【0】 (0)	6 【0】 (6)	64 【0】 (64)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	
	連合農学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハディ校 国際連携食品科学技術専攻 (D)		15 【0】 (15)	6 【0】 (6)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	21 【0】 (21)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	
	連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 (D)		6 【0】 (6)	3 【0】 (3)	1 【0】 (1)	2 【0】 (2)	12 【0】 (12)	0 【0】 (0)	2 【0】 (2)	
	連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻 (D)		7 【0】 (7)	4 【0】 (4)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	11 【0】 (11)	0 【0】 (0)	4 【0】 (4)	
	計		432 【3】 (432)	301 【2】 (301)	7 【0】 (7)	58 【1】 (58)	798 【6】 (798)	1 【0】 (1)	712 【0】 (712)	
合 計		438 【3】 (438)	306 【2】 (306)	7 【0】 (7)	59 【1】 (59)	810 【6】 (810)	1 【0】 (1)	715 【0】 (715)		
職 種		専 属			そ の 他		計			
事 務 職 員		人 351 (351)			人 384 (384)		人 735 (735)			
技 術 職 員		1,166 (1,116)			243 (243)		1,409 (1,409)			
図 書 館 職 員		6 (6)			0 (0)		6 (6)			
そ の 他 の 職 員		0 (0)			107 (107)		107 (107)			
指 導 補 助 者		0 (0)			0 (0)		0 (0)			
計		1,523 (1,523)			734 (734)		2,257 (2,257)			
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計	
	校 舎 敷 地		368,279㎡		0㎡		0㎡		368,279㎡	
	そ の 他		6,839,816㎡		11,712㎡		0㎡		6,851,528㎡	
	合 計		7,208,095㎡		11,712㎡		0㎡		7,219,807㎡	
校 舎		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
		199,963㎡ (199,963㎡)		0㎡ (0 ㎡)		0㎡ (0 ㎡)		199,963㎡ (199,963㎡)		
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室		811室		教 員 研 究 室		736室		
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕冊		学術雑誌 〔うち外国書〕種		機械・器具 点		標本 点	
			939,133 [326,441] (939,133 [326,441])		23,991 [23,057] (23,991 [23,057])		24,730 [11,884] (24,730 [11,884])		7,747 [6,195] (7,747 [6,195])	12,448 (12,448)
			939,133 [326,441] (939,133 [326,441])		23,991 [23,057] (23,991 [23,057])		24,730 [11,884] (24,730 [11,884])		7,747 [6,195] (7,747 [6,195])	12,448 (12,448)
	計		939,133 [326,441] (939,133 [326,441])		23,991 [23,057] (23,991 [23,057])		24,730 [11,884] (24,730 [11,884])		7,747 [6,195] (7,747 [6,195])	12,448 (12,448)
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体		
		1,800㎡		625㎡		14,471㎡				
経費の 見り及び 維持方法 の概要	経費の 見り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		教員1人当り研究費等		—	—	—	—	—	—	
		共同研究費等		—	—	—	—	—	—	
		図 書 購 入 費	—	—	—	—	—	—	—	
	設 備 購 入 費	—	—	—	—	—	—	—		
	学生1人当り 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
			— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		該当なし								
大 学 等 の 名 称		岐阜大学								
学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	収 容 定 員 充 足 率	開 設 年度	所 在 地	
		年	人	年次 人	人		倍			

教育学部						1. 09 《1. 05》			
学校教育教員養成課程	4	220	-	880	学士（教育学）	1. 09 《1. 05》	平成10 年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	令和2年度入学定員増（20人） 令和3年度入学定員減（△30人）
特別支援学校教員養成課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成19 年度	同上	令和2年度より学生募集停止
地域科学部						1. 06 《1. 04》			
地域政策学科	4	50	3年次 5	210	学士（地域科学）	1. 19 《1. 16》	平成18 年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
地域文化学科	4	50	3年次 5	210	学士（地域科学）	0. 94 《0. 92》	平成18 年度	同上	
医学部						0. 99 《0. 97》			
医学科	6	110	-	660	学士（医学）	0. 98 《0. 96》	昭和39 年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
看護学科	4	80	-	320	学士（看護学）	1. 00 《0. 99》	平成12 年度	同上	
工学部						1. 05 《1. 01》			【 】は社会システム経営学環（学部 等連係課程実施基本組織等）への提出 数（内数）
社会基盤工学科	4	68 【8】	3年次 10	292 【32】	学士（工学）	1. 02 《0. 96》	平成14 年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	令和3年度入学定員増（8人） 令和3年度3年次編入学定員増（10人）
機械工学科	4	134 【4】	3年次 10	556 【16】	学士（工学）	1. 09 《1. 05》	平成25 年度	同上	令和3年度入学定員増（4人） 令和3年度3年次編入学定員増（10人）
化学・生命工学科	4	154 【4】	3年次 2	620 【16】	学士（工学）	1. 03 《1. 02》	平成25 年度	同上	令和3年度入学定員増（4人） 令和3年度3年次編入学定員増（2人）
電気電子・情報工学科	4	174 【4】	3年次 8	712 【16】	学士（工学）	1. 05 《1. 00》	平成25 年度	同上	令和3年度入学定員増（4人） 令和3年度3年次編入学定員増（8人）
応用生物科学部						1. 05 《1. 03》			【 】は社会システム経営学環（学部 等連係課程実施基本組織等）への提出 数（内数）
応用生命科学課程	4	85 【5】	3年次 5	350 【20】	学士（応用生物科学）	1. 06 《1. 04》	平成23 年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	令和3年度入学定員増（5人）
生産環境科学課程	4	85 【5】	3年次 5	350 【20】	学士（応用生物科学）	1. 04 《1. 02》	平成16 年度	同上	令和3年度入学定員増（5人）
共同獣医学科	6	30	-	180	学士（獣医学）	1. 04 《1. 03》	平成25 年度	同上	
獣医学課程	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	平成16 年度	同上	平成25年度より学生募集停止
社会システム経営学環	4	【30】	-	【120】	学士（経営学）	1. 04 《1. 03》	令和3年 度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	学部等連係課程実施基本組織等のた め、定員は工学部、応用生物科学部の ものを活用
教育学研究科						1. 02 《0. 98》			
教職実践開発専攻 （専門職学位課程）	2	-	-	-	教職修士（専門 職）	-	平成20 年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	令和4年度より学生募集停止
心理発達支援専攻 （修士課程）	2	-	-	-	修士（教育学）	-	平成20 年度	同上	令和4年度より学生募集停止
総合教科教育専攻 （修士課程）	2	-	-	-	修士（教育学）	-	平成25 年度	同上	令和4年度より学生募集停止
教職実践開発専攻 （専門職学位課程）	2	40		80	教職修士（専門 職）	1. 03 《1. 00》	令和4年 度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	

教育臨床心理学専攻																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

	(修士課程)	2	42	-	84	修士（応用生物科学）	1.41 ≪1.36≫	平成29年度	同上		
	環境社会基盤工学専攻										
	(修士課程)	2	29	-	58	修士（工学）	1.32 ≪1.29≫	平成29年度	同上		
	物質・ものづくり工学専攻										
	(修士課程)	2	67	-	134	修士（工学）	1.45 ≪1.44≫	平成29年度	同上		
	知能理工学専攻										
	(修士課程)	2	81	-	162	修士（工学）	1.30 ≪1.28≫	平成29年度	同上		
	エネルギー工学専攻										
	(修士課程)	2	72	-	144	修士（工学）	1.20 ≪1.19≫	平成29年度	同上		
	岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻										
	(修士課程)	2	10	-	20	修士（食品科学技術）	0.80 ≪0.75≫	平成31年度	同上		
	共同獣医学研究科						1.04 ≪0.95≫				
	共同獣医学専攻										
	(博士課程)	4	6	-	24	博士（獣医学）	1.04 ≪0.95≫	平成31年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1		
	連合農学研究科						2.05 ≪1.65≫				
	生物生産科学専攻										
	(博士課程)	3	7	-	21	博士（農学）	1.61 ≪1.23≫	平成3年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1		
	生物環境科学専攻										
	(博士課程)	3	5	-	15	博士（農学）	1.80 ≪1.46≫	平成3年度	同上		
	生物資源科学専攻										
	(博士課程)	3	6	-	18	博士（農学）	2.94 ≪2.44≫	平成3年度	同上		
	岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻										
	(博士課程)	3	2	-	6	博士（学術）	1.50 ≪1.16≫	平成31年度	同上		
	連合獣医学研究科										
	獣医学専攻										
	(博士課程)	4	-	-	-	博士（獣医学）	-	平成2年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	平成31年度より学生募集停止	
	連合創薬医療情報研究科						1.27 ≪1.05≫				
	創薬科学専攻										
	(博士課程)	3	3	-	9	博士（工学または薬科学）	1.33 ≪1.00≫	平成19年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1		
	医療情報学専攻										
	(博士課程)	3	3	-	9	博士（医科学または薬科学）	1.22 ≪1.11≫	平成19年度	同上		
大 学 等 の 名 称											名古屋大学
学 部 等 の 名 称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所 在 地		
		年	人	年次人	人		倍				
文学部		4	125	3年次10	520	学士（文学）	1.10 ≪1.05≫	昭和24年度	愛知県名古屋市中種区不老町1		
人文学科		4	125	3年次10	520	学士（文学）	1.10 ≪1.05≫	平成8年度	同上		
教育学部		4	65	3年次10	280	学士（教育学）	1.12 ≪1.08≫	昭和24年度	愛知県名古屋市中種区不老町1		

	人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士（教育学）	1.12 ≪1.08≫	平成9年 度	同上	
	法学部	4	150	3年次 10	620	学士（法学）	1.09 ≪1.05≫	昭和24 年度	愛知県名古屋千 種区不老町1	
	法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士（法学）	1.09 ≪1.05≫	平成9年 度	同上	
	経済学部	4	205	3年次 10	840	学士（経済学）	1.07 ≪1.03≫	昭和24 年度	愛知県名古屋千 種区不老町1	
	経済学科	4	140	—	560	学士（経済学）	1.08 ≪1.04≫	昭和24 年度	同上	
	経営学科	4	65	—	260	学士（経済学）	1.06 ≪1.03≫	昭和24 年度	同上	
	情報学部	4	135	3年次 10	560	学士（情報学）	1.10 ≪1.06≫	平成29 年度	愛知県名古屋千 種区不老町1	
	自然情報学科	4	38	3年次 4	160	学士（情報学）	1.15 ≪1.12≫	平成29 年度	同上	
	人間・社会情報学科	4	38	3年次 4	160	学士（情報学）	1.10 ≪1.06≫	平成29 年度	同上	
	コンピュータ科学科	4	59	3年次 2	240	学士（情報学）	1.16 ≪1.11≫	平成29 年度	同上	
	理学部	4	270	—	1,080	学士（理学）	1.11 ≪1.07≫	昭和24 年度	愛知県名古屋千 種区不老町1	
	数理学科	4	55	—	220	学士（理学）	1.15 ≪1.09≫	平成7年 度	同上	
	物理学科	4	90	—	360	学士（理学）	1.10 ≪1.05≫	昭和24 年度	同上	
	化学科	4	50	—	200	学士（理学）	1.14 ≪1.11≫	昭和24 年度	同上	
	生命理学科	4	50	—	200	学士（理学）	1.10 ≪1.06≫	平成8年 度	同上	
	地球惑星科学科	4	25	—	100	学士（理学）	1.10 ≪1.06≫	平成4年 度	同上	
	医学部	4・6	307	2年次 4	1,459	学士（医学） 学士（看護学） 学士（保健学） 学士（リハビリテーション学）	1.05 ≪1.03≫	昭和24 年度	—	
	医学科	6	107	2年次 4	659	学士（医学）	1.05 ≪1.03≫	昭和24 年度	愛知県名古屋昭 和区鶴舞町65	令和4年度編入学定員変更（3年次5名→ 2年次4名）
	保健学科	4	200	—	800	学士（看護学） 学士（保健学） 学士（リハビリテーション学）	1.04 ≪1.02≫	平成9年 度	愛知県名古屋市東 区大幸南1-1-20	
	工学部	4	680	—	2,720	学士（工学）	1.07 ≪1.03≫	昭和24 年度	愛知県名古屋千 種区不老町1	
	物理工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成9年 度	同上	平成29年度より学生募集停止
	電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成7 年度	同上	平成29年度より学生募集停止
	環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成8年 度	同上	平成29年度より学生募集停止
	化学生命工学科	4	99	—	396	学士（工学）	1.07 ≪1.05≫	平成29 年度	同上	
	物理工学科	4	83	—	332	学士（工学）	1.09 ≪1.02≫	平成29 年度	同上	
	マテリアル工学科	4	110	—	440	学士（工学）	1.07 ≪1.02≫	平成29 年度	同上	
	電気電子情報工学科	4	118	—	472	学士（工学）	1.07 ≪1.04≫	平成29 年度	同上	
	機械・航空宇宙工学科	4	150	—	600	学士（工学）	1.06 ≪1.04≫	平成29 年度	同上	
	エネルギー理工学科	4	40	—	160	学士（工学）	1.04 ≪1.02≫	平成29 年度	同上	
	環境土木・建築学科	4	80	—	320	学士（工学）	1.07 ≪1.04≫	平成29 年度	同上	
	農学部	4	170	—	680	学士（農学）	1.08 ≪1.06≫	昭和26 年度	愛知県名古屋千 種区不老町1	
	生物環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.07 ≪1.04≫	平成18 年度	同上	
	資源生物科学科	4	55	—	220	学士（農学）	1.04 ≪1.02≫	平成18 年度	同上	
	応用生命科学科	4	80	—	320	学士（農学）	1.12 ≪1.09≫	平成18 年度	同上	

文学研究科							昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市中心区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(文学) 博士(歴史学)	—		同上	
人文学研究科							平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋市中心区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学) 修士(学術)	1.12		同上	
(博士後期課程)	3	61	—	183	博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	1.05			
教育発達科学研究科							昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市中心区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.87		同上	
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	2.00			
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88	平成12年度	愛知県名古屋市中心区不老町1	
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	1.55			
法学研究科							昭和28年度 平成16年度	愛知県名古屋市中心区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法学) 修士(現代法学)	1.04		同上	
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法学) 博士(現代法学)	1.11			
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.96	平成16年度	同上	
経済学研究科							昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市中心区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学)	1.43		同上	
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.77			
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	0.96	平成12年度	同上	
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.66			
情報学研究科							平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋市中心区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	0.96		同上	

						修士（学術）						
	（博士後期課程）	3	4	—	12	博士（情報学）	1.66					
						博士（学術）		平成29年度	同上			
	複雑系科学専攻											
	（博士前期課程）	2	36	—	72	修士（情報学）	1.33					
						修士（学術）						
	（博士後期課程）	3	8	—	24	博士（情報学）	1.00					
						博士（学術）		平成29年度	同上			
	社会情報学専攻											
	（博士前期課程）	2	18	—	36	修士（情報学）	0.86					
						修士（学術）						
	（博士後期課程）	3	5	—	15	博士（情報学）	1.00					
						博士（学術）		平成29年度	同上			
	心理・認知科学専攻											
	（博士前期課程）	2	15	—	30	修士（情報学）	0.93					
						修士（学術）						
	（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（情報学）	1.14					
						博士（学術）		平成29年度	愛知県名古屋市中種区不老町1			
	情報システム学専攻											
	（博士前期課程）	2	32	—	64	修士（情報学）	1.09					
						修士（学術）						
	（博士後期課程）	3	9	—	27	博士（情報学）	0.74					
						博士（学術）		平成29年度	同上			
	知能システム学専攻											
	（博士前期課程）	2	29	—	58	修士（情報学）	1.39					
						修士（学術）						
	（博士後期課程）	3	10	—	30	博士（情報学）	2.86					
						博士（学術）						
	理学研究科							昭和28年度	愛知県名古屋市中種区不老町1			
	素粒子宇宙物理学専攻							平成7年度	同上		令和4年度より学生募集停止	
	（博士前期課程）	2	—	—	—	修士（理学）	—					
	（博士後期課程）	3	—	—	—	博士（理学）	—					
	物質理学専攻							平成7年度	同上		令和4年度より学生募集停止	
	（博士前期課程）	2	—	—	—	修士（理学）	—					
	（博士後期課程）	3	—	—	—	博士（理学）	—					
	生命理学専攻							平成8年度	同上		令和4年度より学生募集停止	
	（博士前期課程）	2	—	—	—	修士（理学）	—					
	（博士後期課程）	3	—	—	—	博士（理学）	—					
	理学専攻							令和4年度	同上		令和4年度新設	
	（博士前期課程）	2	188	—	376	修士（理学）	1.10					
	（博士後期課程）	3	70	—	140	博士（理学）	0.83					
	名古屋大学・エディンバラ大学 国際連携理学専攻							平成28年度	同上			
	（博士後期課程）	3	2	—	6	博士（理学）	0.00					

医学系研究科						昭和30年度 (平成14年 度名称変更) 平成25 年度	—	
総合医学専攻							愛知県名古屋市中 区和区鶴舞町65	
(博士課程)	4	151	—	604	博士 (医学)	1. 14		
名古屋大学・アデレード大学国 際連携総合医学専攻						平成27 年度	同上	
(博士課程)	4	4	—	16	博士 (医学)	0. 25		
名古屋大学・ルンド大 学国際連携総合医学専 攻						平成29 年度	同上	
(博士課程)	4	4	—	16	博士 (医学)	0. 12		
名古屋大学・フライブルク大学 国際連携総合医学専攻						平成30 年度	同上	
(博士課程)	4	2	—	8	博士 (医学)	0. 00		
医科学専攻						平成13 年度	同上	
(修士課程)	2	20	—	40	修士 (医科学)	1. 07		
医療行政コース	1	10	—	10	修士 (医療行政 学)	0. 50		
総合保健学専攻						令和2年 度	愛知県名古屋市東 区大幸南1-1-20	
(博士前期課程)	2	70	—	140	修士 (看護学)	0. 88		
					修士 (医療技術 学)			
					修士 (リハビリテーション療 法学)			
(博士後期課程)	3	20	—	60	博士 (看護学)	0. 90		
					博士 (医療技術 学)			
					修士 (リハビリテーション療 法学)			
看護学専攻						平成14 年度	同上	令和2年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (看護学)	—		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (看護学)	—		
リハビリテーション療法学専攻						平成14 年度	同上	令和2年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (リハビリテーション療 法学)	—		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (リハビリテーション療 法学)	—		
工学研究科						昭和28 年度 昭和52年度 (平成16年 度再編)	愛知県名古屋市千 種区不老町1 愛知県名古屋市千 種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
結晶材料工学専攻								
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—		
有機・高分子化学専攻						平成29 年度	同上	
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士 (工学)	0. 92		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	0. 54		
応用物質化学専攻						平成29 年度	同上	
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士 (工学)	1. 07		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	1. 16		
生命分子工学専攻						平成29 年度	同上	
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士 (工学)	0. 98		
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (工学)	0. 88		
応用物理学専攻						平成29 年度	同上	
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士 (工学)	1. 02		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士 (工学)	0. 74		
物質科学専攻						平成29 年度	同上	
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士 (工学)	0. 92		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士 (工学)	0. 48		
材料デザイン工学専攻						平成29 年度	同上	

	(博士前期課程)	2	34	—	68	修士 (工学)	0.94			
	(博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (工学)	0.72			
	物質プロセス工学専攻							平成29年度	同上	
	(博士前期課程)	2	35	—	70	修士 (工学)	1.15			
	(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	1.66			
	化学システム工学専攻							平成29年度	同上	
	(博士前期課程)	2	34	—	68	修士 (工学)	1.07			
	(博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (工学)	1.94			
	電気工学専攻							平成29年度	同上	
	(博士前期課程)	2	34	—	68	修士 (工学)	1.16			
	(博士後期課程)	3	9	—	27	博士 (工学)	0.88			
	電子工学専攻							平成29年度	同上	
	(博士前期課程)	2	47	—	94	修士 (工学)	1.17			
	(博士後期課程)	3	13	—	39	博士 (工学)	0.92			
	情報・通信工学専攻							平成29年度	同上	
	(博士前期課程)	2	33	—	66	修士 (工学)	1.06			
	(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	0.83			
	機械システム工学専攻							平成29年度	同上	
	(博士前期課程)	2	66	—	132	修士 (工学)	1.31			
	(博士後期課程)	3	14	—	42	博士 (工学)	0.97			
	マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	同上	
	(博士前期課程)	2	36	—	72	修士 (工学)	1.16			
	(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	1.16			
	航空宇宙工学専攻							平成29年度	同上	
	(博士前期課程)	2	38	—	76	修士 (工学)	1.42			
	(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	1.08			
	エネルギー理工学専攻							平成29年度	同上	
	(博士前期課程)	2	18	—	36	修士 (工学)	1.11			
	(博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (工学)	0.60			
	総合エネルギー工学専攻							平成29年度	同上	
	(博士前期課程)	2	18	—	36	修士 (工学)	1.11			
	(博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (工学)	0.33			
	土木工学専攻							平成29年度	同上	
	(博士前期課程)	2	36	—	72	修士 (工学)	1.08			
	(博士後期課程)	3	9	—	27	博士 (工学)	1.51			
	名古屋大学・チュエロンコン大学国際連携サステイナブル材料工学専攻							令和4年度	同上	令和4年度新設
	(博士後期課程)	3	5	—	10	博士 (工学)	0.53			
	生命農学研究科							昭和30年度 (平成9年度 名称変更) 平成30 年度	愛知県名古屋市中 種区不老町1 同上	
	森林・環境資源科学専攻									
	(博士前期課程)	2	27	—	54	修士 (農学)	1.38			
	(博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (農学)	1.77			
	植物生産科学専攻							平成30 年度	同上	
	(博士前期課程)	2	30	—	60	修士 (農学)	1.26			
	(博士後期課程)	3	9	—	27	博士 (農学)	1.11			

動物科学専攻							平成30年度	同上	
	(博士前期課程)	2	28	—	56	修士 (農学)	1. 03		
	(博士後期課程)	3	7	—	21	博士 (農学)	1. 23		
応用生命科学専攻							平成30年度	同上	
	(博士前期課程)	2	66	—	132	修士 (農学)	1. 12		
	(博士後期課程)	3	16	—	48	博士 (農学)	0. 77		
名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻							平成30年度	同上	
	(博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (農学)	0. 50		
名古屋大学・西オーストラリア大学国際連携生命農学専攻							平成31年度	同上	
	(博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (農学)	0. 16		
国際開発研究科							平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻							平成3年度	同上	平成30年度より学生募集停止
	(博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (国際開発学)	—		
						修士 (学術)			
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (国際開発学)	—		
						博士 (学術)			
国際協力専攻							平成4年度	同上	平成30年度より学生募集停止
	(博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (国際開発学)	—		
						修士 (学術)			
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (国際開発学)	—		
						博士 (学術)			
国際コミュニケーション専攻							平成5年度	同上	平成29年度より学生募集停止
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (学術)	—		
国際開発協力専攻							平成30年度	同上	
	(博士前期課程)	2	44	—	88	修士 (国際開発学)	1. 14		
						修士 (学術)			
	(博士後期課程)	3	22	—	66	博士 (国際開発学)	1. 27		
						博士 (学術)			
多元数理科学研究科							平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻							平成7年度	同上	
	(博士前期課程)	2	47	—	94	修士 (数理学)	1. 17		
	(博士後期課程)	3	30	—	90	博士 (数理学)	0. 73		
環境学研究科							平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻							平成13年度	同上	
	(博士前期課程)	2	53	—	106	修士 (環境学)	1. 07		
						修士 (理学)			
	(博士後期課程)	3	24	—	72	博士 (環境学)	0. 90		
						博士 (理学)			
都市環境学専攻							平成13年度	同上	
	(博士前期課程)	2	47	—	94	修士 (環境学)	1. 29		
						修士 (工学)			
						修士 (建築学)			
	(博士後期課程)	3	21	—	63	博士 (環境学)	0. 63		

社会環境学専攻 (博士前期課程)

附属施設の概要	土地 6,424,445㎡	
	名 称：	応用生物科学部附属動物病院
	目 的：	診療，獣医学の教育及び研究
	所 在 地：	岐阜県岐阜市柳戸1番1
	設 置 年 月：	平成16年4月
	規模等（延面積）：	3,681㎡
	名 称：	教育推進・学生支援機構
	目 的：	教育推進，学生支援
	所 在 地：	岐阜県岐阜市柳戸1番1
	設 置 年 月：	平成25年12月
	規模等（延面積）：	7,144㎡
	名 称：	グローバル推進機構
	目 的：	国際協働教育推進，地域国際化推進，留学推進，国際企画
	所 在 地：	岐阜県岐阜市柳戸1番1
	設 置 年 月：	平成31年4月
	規模等（延面積）：	1,045㎡
	名 称：	学術研究・産学官連携推進本部
	目 的：	研究推進，教育研究活動支援，産学連携・地域連携推進
	所 在 地：	岐阜県岐阜市柳戸1番1
	設 置 年 月：	令和2年4月
	規模等（延面積）：	11,062㎡
	名 称：	高等研究院
	目 的：	研究支援
	所 在 地：	岐阜県岐阜市柳戸1番1
	設 置 年 月：	令和2年4月
	規模等（延面積）：	11,062㎡
	名 称：	地域協学センター
	目 的：	地域協働
	所 在 地：	岐阜県岐阜市柳戸1番1
	設 置 年 月：	平成25年12月
	規模等（延面積）：	336㎡
	名 称：	環境社会共生体研究センター
	目 的：	環境問題，気候変動的応等への研究支援
	所 在 地：	岐阜県岐阜市柳戸1番1 （高山試験地 岐阜県高山市岩井町919の47）
	設 置 年 月：	令和6年4月
	規模等（延面積）：	1,890㎡
	名 称：	保健管理センター
	目 的：	学生及び教職員の健康管理
	所 在 地：	岐阜県岐阜市柳戸1番1
	設 置 年 月：	昭和49年4月
	規模等（延面積）：	525㎡
	名 称：	医学教育開発研究センター
	目 的：	医学教育に関する研修，調査分析等
	所 在 地：	岐阜県岐阜市柳戸1番1
	設 置 年 月：	平成13年4月
	規模等（延面積）：	535㎡
	名 称：	糖鎖生命コア研究所
	目 的：	糖鎖に係る先端研究
	所 在 地：	岐阜県岐阜市柳戸1番1
	設 置 年 月：	令和3年1月
	規模等（延面積）：	4,296㎡

国立大学法人東海国立大学機構 設置申請に関わる組織の移行表（岐阜大学）

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
岐阜大学				岐阜大学				
教育学部				教育学部				
学校教育教員養成課程	220	—	880	学校教育教員養成課程	220	—	880	
地域科学部		3 年次		地域科学部		3 年次		
地域政策学科	50	5	210	地域政策学科	50	5	210	
地域文化学科	50	5	210	地域文化学科	50	5	210	
医学部		3 年次		医学部		3 年次		臨時定員増の延長がない場合 定員変更（△25）
医学科（6 年制）	110	—	660	<u>医学科（6 年制）</u>	<u>85</u>	—	<u>510</u>	
看護学科	80	—	320	看護学科	80	—	320	
工学部		3 年次		工学部		3 年次		工学部
社会基盤工学科	68	10	292	社会基盤工学科	68	10	292	【8】※1
機械工学科	134	10	556	機械工学科	134	10	556	【4】※1
化学・生命工学科	154	2	620	化学・生命工学科	154	2	620	【4】※1
電気電子・情報工学科	174	8	712	<u>電気電子・情報工学科</u>	<u>194</u>	8	<u>792</u>	定員変更(20)（意見伺い）【4】※1
応用生物科学部		3 年次		応用生物科学部		3 年次		
応用生命科学課程	85	5	350		0	—	0	令和7年4月学生募集停止
生産環境科学課程	85	5	350		0	—	0	令和7年4月学生募集停止
				<u>応用生命化学科</u>	<u>58</u>	<u>3</u>	<u>238</u>	学科の設置（事前相談）【3】※1
				<u>食農生命科学科</u>	<u>59</u>	<u>4</u>	<u>244</u>	学科の設置（事前相談）【4】※1
				<u>生物圏環境学科</u>	<u>53</u>	<u>3</u>	<u>218</u>	学科の設置（事前相談）【3】※1
共同獣医学科（6 年制）	30	—	180	共同獣医学科（6 年制）	30	—	180	
社会システム経営学環	【30】	—	【120】	社会システム経営学環	【30】	—	【120】	
計	1, 240	50	5, 340	計	<u>1, 235</u>	50	<u>5, 270</u>	
岐阜大学大学院				岐阜大学大学院				
教育学研究科				教育学研究科				
教職実践開発専攻（P）	40	—	80	教職実践開発専攻（P）	40	—	80	
教育臨床心理学専攻（M）	5	—	10	教育臨床心理学専攻（M）	5	—	10	
地域科学研究科				地域科学研究科				
地域政策専攻（M）	12	—	24	<u>地域政策専攻（M）</u>	<u>13</u>	—	<u>26</u>	定員変更(1)【1】※2
地域文化専攻（M）	8	—	16	地域文化専攻（M）	8	—	16	
医学系研究科				医学系研究科				
医科学専攻（4 年制D）	47	—	188	医科学専攻（4 年制D）	47	—	188	
看護学専攻（M）	8	—	16	看護学専攻（M）	8	—	16	
医療者教育学専攻（M）	6	—	12	医療者教育学専攻（M）	6	—	12	
工学研究科				工学研究科				
工学専攻（D）	23	—	69	工学専攻（D）	23	—	69	
岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				
国際連携統合機械工学専攻（D）	2	—	6	国際連携統合機械工学専攻（D）	2	—	6	
岐阜大学・マレーシア国民大学				岐阜大学・マレーシア国民大学				
国際連携材料科学工学専攻（D）	2	—	6	国際連携材料科学工学専攻（D）	2	—	6	
自然科学技術研究科				自然科学技術研究科				
生命科学・化学専攻（M）	74	—	148	生命科学・化学専攻（M）	74	—	148	
生物生産環境科学専攻（M）	42	—	84	<u>生物生産環境科学専攻（M）</u>	<u>44</u>	—	<u>88</u>	定員変更(2)【2】※2
環境社会基盤工学専攻（M）	29	—	58	<u>環境社会基盤工学専攻（M）</u>	<u>32</u>	—	<u>64</u>	定員変更(3)【3】※2
物質・ものづくり工学専攻（M）	67	—	134	物質・ものづくり工学専攻（M）	67	—	134	
知能理工学専攻（M）	81	—	162	<u>知能理工学専攻（M）</u>	<u>91</u>	—	<u>182</u>	定員変更(10)
エネルギー工学専攻（M）	72	—	144	エネルギー工学専攻（M）	72	—	144	
岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				
国際連携食品科学技術専攻（M）	10	—	20	国際連携食品科学技術専攻（M）	10	—	20	
共同獣医学研究科				共同獣医学研究科				
共同獣医学専攻（4 年制D）	6	—	24	共同獣医学専攻（4 年制D）	6	—	24	
連合農学研究科				連合農学研究科				
生物生産科学専攻（D）	7	—	21	生物生産科学専攻（D）	7	—	21	
生物環境科学専攻（D）	5	—	15	生物環境科学専攻（D）	5	—	15	
生物資源科学専攻（D）	6	—	18	生物資源科学専攻（D）	6	—	18	
岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				
国際連携食品科学技術専攻（D）	2	—	6	国際連携食品科学技術専攻（D）	2	—	6	
連合創薬医療情報研究科				連合創薬医療情報研究科				
創薬科学専攻（D）	3	—	9	創薬科学専攻（D）	3	—	9	
医療情報学専攻（D）	3	—	9	医療情報学専攻（D）	3	—	9	
				<u>社会システム経営学院（M）</u>	<u>【6】</u>	—	<u>【12】</u>	研究科の設置（事前相談）
計	560	—	1, 279	計	<u>576</u>	—	<u>1, 311</u>	

※1 【 】内は社会システム経営学環に関する連携協力学部定員内訳
 ※2 【 】内は社会システム経営学院に関する連携協力研究科定員内訳

国立大学法人東海国立大学機構 設置申請に関わる組織の移行表(名古屋大学)

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
名古屋大学				名古屋大学				
文学部		3年次		文学部		3年次		
人文学科	125	10	520	人文学科	125	10	520	
教育学部		3年次		教育学部		3年次		
人間発達科学科	65	10	280	人間発達科学科	65	10	280	
法学部		3年次		法学部		3年次		
法律・政治学科	150	10	620	法律・政治学科	150	10	620	
経済学部		3年次		経済学部		3年次		
経済学科	140	—	560	経済学科	140	—	560	
経営学科	65	—	260	経営学科	65	—	260	
学部共通	—	10	20	学部共通	—	10	20	
情報学部		3年次		情報学部		3年次		
自然情報学科	38	4	160	自然情報学科	44	4	184	定員変更(6)(意見伺い)
人間・社会情報学科	38	4	160	人間・社会情報学科	38	4	160	
コンピュータ科学科	59	2	240	コンピュータ科学科	67	4	276	定員変更(8)(編入2)(意見伺い)
理学部				理学部				
数理学科	55	—	220	数理学科	55	—	220	
物理学科	90	—	360	物理学科	90	—	360	
化学科	50	—	200	化学科	50	—	200	
生命理学科	50	—	200	生命理学科	50	—	200	
地球惑星科学科	25	—	100	地球惑星科学科	25	—	100	
医学部		2年次		医学部		2年次		
医学科(6年制)	107	4	662	医学科(6年制)	100	4	620	臨時定員増の延長がない場合
保健学科	200	—	800	保健学科	200	—	800	定員変更(Δ7)
工学部				工学部				
化学生命工学科	99	—	396	化学生命工学科	99	—	396	
物理工学科	83	—	332	物理工学科	83	—	332	
マテリアル工学科	110	—	440	マテリアル工学科	110	—	440	
電気電子情報工学科	118	—	472	電気電子情報工学科	128	—	512	定員変更(10)(意見伺い)
機械・航空宇宙工学科	150	—	600	機械・航空宇宙工学科	160	—	640	定員変更(10)(意見伺い)
エネルギー理工学科	40	—	160	エネルギー理工学科	40	—	160	
環境土木・建築学科	80	—	320	環境土木・建築学科	80	—	320	
農学部				農学部				
生物環境科学科	35	—	140	生物環境科学科	35	—	140	
資源生物科学科	55	—	220	資源生物科学科	55	—	220	
応用生命科学科	80	—	320	応用生命科学科	80	—	320	
合 計	2,107	54	8,762	合 計	2,134	56	8,860	
名古屋大学大学院				名古屋大学大学院				
人文学研究科				人文学研究科				
人文学専攻(M)	104	—	208	人文学専攻(M)	104	—	208	
人文学専攻(D)	61	—	183	人文学専攻(D)	61	—	183	
教育発達科学研究科				教育発達科学研究科				
教育科学専攻(M)	32	—	64	教育科学専攻(M)	32	—	64	
教育科学専攻(D)	16	—	48	教育科学専攻(D)	16	—	48	
心理発達科学専攻(M)	22	—	44	心理発達科学専攻(M)	22	—	44	
心理発達科学専攻(D)	15	—	45	心理発達科学専攻(D)	15	—	45	
法学研究科				法学研究科				
総合法政専攻(M)	35	—	70	総合法政専攻(M)	35	—	70	
総合法政専攻(D)	17	—	51	総合法政専攻(D)	17	—	51	
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	50	—	150	実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	50	—	150	
経済学研究科				経済学研究科				
社会経済システム専攻(M)	30	—	60	社会経済システム専攻(M)	30	—	60	
社会経済システム専攻(D)	15	—	45	社会経済システム専攻(D)	15	—	45	
産業経営システム専攻(M)	14	—	28	産業経営システム専攻(M)	14	—	28	
産業経営システム専攻(D)	7	—	21	産業経営システム専攻(D)	7	—	21	
情報学研究科				情報学研究科				
数理情報学専攻(M)	14	—	28	数理情報学専攻(M)	14	—	28	
数理情報学専攻(D)	4	—	12	数理情報学専攻(D)	4	—	12	
複雑系科学専攻(M)	36	—	72	複雑系科学専攻(M)	44	—	88	定員変更(8)
複雑系科学専攻(D)	8	—	24	複雑系科学専攻(D)	8	—	24	
社会情報学専攻(M)	18	—	36	社会情報学専攻(M)	18	—	36	
社会情報学専攻(D)	5	—	15	社会情報学専攻(D)	5	—	15	
心理・認知科学専攻(M)	15	—	30	心理・認知科学専攻(M)	15	—	30	
心理・認知科学専攻(D)	7	—	21	心理・認知科学専攻(D)	7	—	21	
情報システム学専攻(M)	32	—	64	情報システム学専攻(M)	33	—	66	定員変更(11)
情報システム学専攻(D)	9	—	27	情報システム学専攻(D)	9	—	27	
知能システム学専攻(M)	29	—	58	知能システム学専攻(M)	40	—	80	定員変更(11)
知能システム学専攻(D)	10	—	30	知能システム学専攻(D)	10	—	30	
理学研究科				理学研究科				
理学専攻(M)	188	—	376	理学専攻(M)	188	—	376	
理学専攻(D)	70	—	210	理学専攻(D)	70	—	210	
名古屋大学・エディンバラ大学 国際連携理学専攻(D)	2	—	6	名古屋大学・エディンバラ大学 国際連携理学専攻(D)	2	—	6	

国立大学法人東海国立大学機構 設置申請に関わる組織の移行表(名古屋大学)

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
医学系研究科				医学系研究科				
総合医学専攻(D)	151	—	604	総合医学専攻(D)	151	—	604	
名古屋大学・アデレード大学	4	—	16	名古屋大学・アデレード大学	4	—	16	
国際連携総合医学専攻(D)				国際連携総合医学専攻(D)				
名古屋大学・ルンド大学	4	—	16	名古屋大学・ルンド大学	4	—	16	
国際連携総合医学専攻(D)				国際連携総合医学専攻(D)				
名古屋大学・フライブルク大	2	—	8	名古屋大学・フライブルク大	2	—	8	
学国際連携総合医学専攻(D)				学国際連携総合医学専攻				
医科学専攻(修士課程)	20	—	40	医科学専攻(修士課程)	20	—	40	
医科学専攻医療行政コース	10	—	10	医科学専攻医療行政コース	10	—	10	
総合保健学専攻(M)	70	—	140	総合保健学専攻(M)	70	—	140	
総合保健学専攻(D)	20	—	60	総合保健学専攻(D)	20	—	60	
工学研究科				工学研究科				
有機・高分子化学専攻(M)	34	—	68	有機・高分子化学専攻(M)	34	—	68	
有機・高分子化学専攻(D)	8	—	24	有機・高分子化学専攻(D)	8	—	24	
応用物質化学専攻(M)	34	—	68	応用物質化学専攻(M)	34	—	68	
応用物質化学専攻(D)	8	—	24	応用物質化学専攻(D)	8	—	24	
生命分子工学専攻(M)	28	—	56	生命分子工学専攻(M)	28	—	56	
生命分子工学専攻(D)	6	—	18	生命分子工学専攻(D)	6	—	18	
応用物理学専攻(M)	39	—	78	応用物理学専攻(M)	39	—	78	
応用物理学専攻(D)	9	—	27	応用物理学専攻(D)	9	—	27	
物質科学専攻(M)	39	—	78	物質科学専攻(M)	39	—	78	
物質科学専攻(D)	9	—	27	物質科学専攻(D)	9	—	27	
材料デザイン工学専攻(M)	34	—	68	材料デザイン工学専攻(M)	34	—	68	
材料デザイン工学専攻(D)	6	—	20	材料デザイン工学専攻(D)	6	—	20	
物質プロセス工学専攻(M)	35	—	70	物質プロセス工学専攻(M)	35	—	70	
物質プロセス工学専攻(D)	8	—	25	物質プロセス工学専攻(D)	8	—	25	
化学システム工学専攻(M)	34	—	68	化学システム工学専攻(M)	34	—	68	
化学システム工学専攻(D)	6	—	20	化学システム工学専攻(D)	6	—	20	
電気工学専攻(M)	34	—	68	電気工学専攻(M)	34	—	68	
電気工学専攻(D)	9	—	27	電気工学専攻(D)	9	—	27	
電子工学専攻(M)	47	—	94	電子工学専攻(M)	47	—	94	
電子工学専攻(D)	13	—	39	電子工学専攻(D)	13	—	39	
情報・通信工学専攻(M)	33	—	66	情報・通信工学専攻(M)	33	—	66	
情報・通信工学専攻(D)	8	—	24	情報・通信工学専攻(D)	8	—	24	
機械システム工学専攻(M)	66	—	132	機械システム工学専攻(M)	66	—	132	
機械システム工学専攻(D)	14	—	42	機械システム工学専攻(D)	14	—	42	
マイクロ・ナノ機械理工学 専攻(M)	36	—	72	マイクロ・ナノ機械理工学 専攻(M)	36	—	72	
マイクロ・ナノ機械理工学 専攻(D)	8	—	24	マイクロ・ナノ機械理工学 専攻(D)	8	—	24	
航空宇宙工学専攻(M)	38	—	76	航空宇宙工学専攻(M)	38	—	76	
航空宇宙工学専攻(D)	8	—	24	航空宇宙工学専攻(D)	8	—	24	
エネルギー理工学専攻(M)	18	—	36	エネルギー理工学専攻(M)	18	—	36	
エネルギー理工学専攻(D)	5	—	15	エネルギー理工学専攻(D)	5	—	15	
総合エネルギー工学専攻(M)	18	—	36	総合エネルギー工学専攻(M)	18	—	36	
総合エネルギー工学専攻(D)	4	—	12	総合エネルギー工学専攻(D)	4	—	12	
土木工学専攻(M)	36	—	72	土木工学専攻(M)	36	—	72	
土木工学専攻(D)	9	—	27	土木工学専攻(D)	9	—	27	
名古屋大学・チュラロンコン 大学国際連携サステイナブル 材料工学専攻	5	—	15	名古屋大学・チュラロンコン 大学国際連携サステイナブル 材料工学専攻	5	—	15	
生命農学研究科				生命農学研究科				
森林・資材科学専攻(M)	27	—	54	森林・資材科学専攻(M)	27	—	54	
森林・資材科学専攻(D)	6	—	18	森林・資材科学専攻(D)	6	—	18	
植物生産科学専攻(M)	30	—	60	植物生産科学専攻(M)	30	—	60	
植物生産科学専攻(D)	9	—	27	植物生産科学専攻(D)	9	—	27	
動物科学専攻(M)	28	—	56	動物科学専攻(M)	28	—	56	
動物科学専攻(D)	7	—	21	動物科学専攻(D)	7	—	21	
応用生命科学専攻(M)	66	—	132	応用生命科学専攻(M)	66	—	132	
応用生命科学専攻(D)	16	—	48	応用生命科学専攻(D)	16	—	48	
名古屋大学・カセサート大学	2	—	6	名古屋大学・カセサート大学	2	—	6	
国際連携生命農学専攻(D)				国際連携生命農学専攻(D)				
名古屋大学・西オーストラリ ア大学国際連携生命農学専攻	2	—	6	名古屋大学・西オーストラリ ア大学国際連携生命農学専攻	2	—	6	
国際開発研究科				国際開発研究科				
国際開発協力専攻(M)	44	—	88	国際開発協力専攻(M)	44	—	88	
国際開発協力専攻(D)	22	—	66	国際開発協力専攻(D)	22	—	66	
多元数理科学研究科				多元数理科学研究科				
多元数理科学専攻(M)	47	—	94	多元数理科学専攻(M)	47	—	94	
多元数理科学専攻(D)	30	—	90	多元数理科学専攻(D)	30	—	90	
環境学研究科				環境学研究科				
地球環境科学専攻(M)	53	—	106	地球環境科学専攻(M)	53	—	106	
地球環境科学専攻(D)	24	—	72	地球環境科学専攻(D)	24	—	72	
都市環境学専攻(M)	47	—	94	都市環境学専攻(M)	47	—	94	
都市環境学専攻(D)	21	—	63	都市環境学専攻(D)	21	—	63	
社会環境学専攻(M)	27	—	54	社会環境学専攻(M)	27	—	54	
社会環境学専攻(D)	13	—	39	社会環境学専攻(D)	13	—	39	
創薬科学研究科				創薬科学研究科				
基盤創薬学専攻(M)	32	—	64	基盤創薬学専攻(M)	32	—	64	
基盤創薬学専攻(D)	10	—	30	基盤創薬学専攻(D)	10	—	30	
合計	2,455	—	5,848	合計	2,475	—	5,888	

設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況

届 出 時 に お け る 状 況						新 設 学 部 等 の 学 年 進 行 新 終 了 時 に お け る 状 況					
学部等の名称	授与する学位等		異 動 先	専任教員		学部等の名称	授与する学位等		異 動 元	専任教員	
	学位又は 称号	学位又は 学科の分野		助教 以上	うち 教授		学位又は 称号	学位又は 学科の分野		助教 以上	うち 教授
地域科学研究科 地域政策専攻	修士 (地域科学)	経済学関係 社会学・社会福祉学関係	社会システム経営学院	1	1	社会システム経営学院	修士 (経営学)	経済学関係	社会システム経営学環	6	3
			地域科学研究科 地域政策専攻	15	6				地域科学研究科 地域政策専攻(兼務)	1	1
									自然科学技術研究科 生物生産環境科学専攻(兼務)	2	0
									自然科学技術研究科 環境社会基盤工学専攻(兼務)	3	2
			計	16	7				計	12	6
自然科学技術 研究科 生物生産環境 科学専攻	修士 (応用生物 科学)	農学関係	社会システム経営学院	2	0						
			自然科学技術研究科 生物生産環境科学専攻	43	21						
			計	45	21						
自然科学技術 研究科 環境社会基盤 工学専攻	修士 (工学)	工学関係	社会システム経営学院	3	2						
			自然科学技術研究科 環境社会基盤工学専攻	22	11						
			計	25	13						

基 礎 と な る 学 部 等 の 改 編 状 況

開設又は 改編時期	改 編 内 容 等	学 位 又 は 学 科 の 分 野	手 続 きの 区 分
平成13年4月	地域科学研究科 地域政策専攻 設置	経済学関係 社会学・社会福祉学関係	設置認可(研究科)
平成29年4月	自然科学技術研究科 生物生産環境科学専攻 設置	農学関係	設置認可(研究科)
	自然科学技術研究科 環境社会基盤工学専攻 設置	工学関係	設置認可(研究科)
令和7年4月	社会システム経営学院 設置	経済学関係	設置届出(研究科)

教 育 課 程 等 の 概 要																
(社会システム経営学院)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員 （助手を除く）	
コア科目	社会システム経営学特論	1前		2			○			6	5		1		1	オムニバス
	事業創造特論	1前		2			○			1	1					オムニバス
	経営組織特論	1後		2			○			1						
	マーケティング特論	1後		2			○				1					
	会計学特論	1後		2			○			1						
	ファイナンス特論	1後		2			○			1						
	データリサーチ特論	1前		2			○								1	
	デザイン思考特論	1前		2			○						1			
小計（8科目）		—	—	2	14	0	—			6	5		1		1	
実コ 習ア	社会システム経営学実習	2前		2				○		1	1					共同
	小計（1科目）	—	—	2	0	0	—			1	1					
専 門 演 習	専門演習Ⅰ	1前		2				○		6	5					集中 集中 集中 集中
	専門演習Ⅱ	1後		2				○		6	5					
	専門演習Ⅲ	2前		2				○		6	5					
	専門演習Ⅳ	2後		2				○		6	5					
	小計（4科目）	—	—	8	0	0	—			6	5					
ス ビ 実 習 ネ	ビジネス実習Ⅰ	1前		2				○		6	5					集中 集中 集中
	ビジネス実習Ⅱ	1後		2				○		6	5					
	小計（2科目）	—	—	0	4	0	—			6	5					
実 務 家 演 習	実務家演習Ⅰ	1・2後		1				○		1						集中 集中 集中 集中
	実務家演習Ⅱ	1・2後		1				○		1						
	実務家演習Ⅲ	1・2前		1				○		1						
	小計（3科目）	—	—	0	3	0	—			2						
応 用 科 目	基本データツール	1・2前		2			○			2					1	オムニバス 集中
	リーダーシップ特論	1・2前		1			○									
	人事管理特論	1・2後		2			○									
	計量経済学特論	2前		2			○			1						
	リスクマネジメント特論	2前		1			○			1						
	プロジェクトマネジメント特論	2後		1			○			1						
	生産管理特論	2後		2			○				1					
	環境経営特論	2前		2			○				1					
	都市経営論	2後		1			○			1						
	食料、農業政策特論	2前		1			○				1					
	農業経営特論	2後		1			○				1					
	地域デザイン特論	2前		1			○				1					
	小計（12科目）	—	—	0	17	0	—			4	4				2	
合計（30科目）		—	—	12	38	0	—			6	5		1		3	
学位又は称号		修士（経営学）				学位又は学科の分野				経済学関係						
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等						
（修了要件） ・原則2年以上在籍し、授業科目について下記に定める科目区分ごとの所要単位数を修得した上で合計30単位以上修得し、かつ、修士論文の審査に合格すること。										1学年の学期区分			2期			
										1学期の授業期間			15週			
										1時限の授業の標準時間			90分			
分類	科目区分	科 目									単位数					
必修	コア科目	「社会システム経営学特論」									2					
必修	コア実習	「社会システム経営学実習」									2					
必修	専門演習	「専門演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」									8					
選択必修	コア科目	「事業創造特論」，「経営組織特論」，「マーケティング特論」， 「会計学特論」，「ファイナンス特論」，「データリサーチ特論」， 「デザイン思考特論」の7科目のうち5科目以上									10以上					
選択必修	ビジネス実習	ビジネス実習（各2単位），実務家演習（各1単位）から2単位以上									2以上					
	実務家演習	※社会人入試の以外による入学者は，ビジネス実習を2単位以上取得しなければならない。									2以上					
		合 計									30以上					

教 育 課 程 等 の 概 要																
(地域科学研究科 地域政策専攻)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 数 (助手を除く)	
研究科 共通 科目	地域科学特別講義I	1前・1後			2		○									1
	地域科学特別講義II	1前・1後			2		○									1
	地域科学特別講義III	1前・1後			2		○									1
	地域科学特別講義IV	1前・1後			2		○									1
	地域科学特別講義V	1前・1後			2		○									1
	地域科学特別講義VI	1前・1後			2		○									1
	小計（6科目）	—	—		12		—			0	0	0	0	0	0	6
修了 研究 科目	特別演習I	1前		2				○		7	6					
	特別演習II	1後		2				○		7	6					
	特別演習Ⅲ	2前		2				○		7	6					
	特別演習IV	2後		2				○		7	6					
	特別研究	1前		2				○		7	6					
	小計（5科目）	—	—	10			—			7	6	0	0	0	0	0
経済 社会 領域	地域産業特論	1前			2		○									1
	理論経済学特論	1後			2		○				1					
	計量経済学特論	1前			2		○			1						
	比較経済体制論特論	1前			2		○				1					
	中小企業論特論	1後			2		○				1					
	小計（5科目）	—	—		4	6	—			1	3	0	0	0	0	1
行政 社会 領域	行政法特論	1前			2		○				1					
	社会政策特論	1前			2		○						1			
	行政学特論	1前			2		○			1						
	憲法特論	1後			2		○						1			
	地方財政論特論	1前			2		○									1
	民事法特論	1後			2		○			1						
	小計（6科目）	—	—		4	8	—			2	1	0	2	0	0	1
自然 環境 領域	環境物理学特論	1後			2		○			1						
	保全生態学特論	1前			2		○									1
	応用生態特論	1前			2		○									1
	数理システム特論	1後			2		○			1						
	数理化特論	1前			2		○			1						
	環境計量化学特論	1後			2		○				1					
	環境心理学特論	1前			2		○			1						
	都市環境工学特論	1後			2		○				1					
	数理物理学特論	1前			2		○						1			
	小計（9科目）	—	—		4	14	—			4	2	0	1	0	0	2
合計（21科目）		—	—		10	24	28	—		7	6	0	3	0	10	
学位又は称号		修士（地域科学）		学位又は学科の分野					経済学関係及び社会学・社会福祉学関係							
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等						
必修科目10単位以上、選択必修科目4単位以上、自由選択科目16単位以上を習得 合計30単位以上修得すること。										1 学年の学期区分				2期		
										1 学期の授業期間				15週		
										1 時限の授業の標準時間				90分		

教 育 課 程 等 の 概 要																
（自然科学技術研究科 生物生産環境科学専攻）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員 （ 助 手 を 除 く）	
研究 科 共 通 科 目	実践英語 Scientific Communications	1・2通			1		○								2	※1
	デザイン思考序論	1・2①, ②		1			○				1				1	オムニバス
	Scientific Presentation	1・2③, ④			1		○								1	※2
	知財論	1・2④			1		○								2	オムニバス
	科学者倫理	1・2③		1			○								5	オムニバス
	デザイン思考トレーニング	1・2③, ④			1		○				1				2	オムニバス
	リーダーシップ入門	1・2②			1		○								3	オムニバス
	アカデミックキャリア Academic Career	1・2通			1			○		21	19		5		1	※1
	インターンシップA I Internship A I	1・2通			1			○		21	19		5			※1
	インターンシップA II Internship A II	1・2通			1			○		21	19		5			※1
	インターンシップB I Internship B I	1・2通			2			○		21	19		5			※1
	インターンシップB II Internship B II	1・2通			2			○		21	19		5			※1
	小計（12科目）	—	—	2	12	0	—			21	19		5	0	16	
横断 研究 科 科 目	先端生命科学特論	1・2①, ②		1			○								9	オムニバス
	先端環境科学特論	1・2①, ②		1			○			4					4	オムニバス
	先端創造科学特論	1・2①, ②		1			○								9	オムニバス
	小計（3科目）	—	—	2	1	0	—			4					22	
専 門 研 究 科 目	特別研究 Master's Thesis Research	1・2通		8				○		21	19		5			※1
	演習 I Research Project I	1・2通		1				○		21	19		5			※1
	演習 II Research Project II	1・2通		1				○		21	19		5			※1
	演習 III Research Project III	1・2通		1				○		21	19		5			※1
	演習 IV Research Project IV	1・2通		1				○		21	19		5			※1
	特別講義 I Special Lecture I	1・2集中			1		○								1	※1
	特別講義 II Special Lecture II	1・2集中			1		○								1	※1
	特別講義 III Special Lecture III	1・2集中			1		○								1	
	特別講義 IV Special Lecture IV	1・2集中			1		○								1	
	アジア水環境動態特論 Special lecture: Asian Water Environment Dynamics Assessment	1・2集中			1		○			1						※1
	小計（10科目）	—	—	12	5	0	—			21	19		5		4	
領 域 コ ア 科 目	応用植物科学 植物保護学特論 Advanced Topics of Plant Protection	1・2集中			1		○				1		1			オムニバス※1
	応用植物科学 植物生理学特論 Advanced Topics of Plant Phvsiology	1・2③			1		○			2						オムニバス※1
	応用植物科学 植物生産科学特論	1・2④			1		○			2	1					オムニバス
	応用動物科学 動物遺伝学特論	1・2②			1		○			1						※1
	応用動物科学 動物栄養学特論	1・2集中			1		○			1						
	応用動物科学 動物管理学特論	1・2①, ②			1		○				1					
	応用動物科学 動物生態学特論 Advanced Topics on Animal Ecology	1・2①			1		○			1						
	環境生 植物生態学特論 Advanced Topics of Plant Ecology	1・2③			1		○				1		1			オムニバス※1

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
生態科学	動物生態学特論 Advanced Topics on Animal Ecology	1・2①			1		○			1						※1
	保全生態学特論 Advanced Topics of Conservation Ecology	1・2③			1		○			2	1					オムニバス※1
	生態系生態学特論 Advanced Topics on Ecosystem Ecology	1・2集中			1		○			2						オムニバス※1
	物質動態学特論 Advanced Topics of Water and Mass Dynamic	1・2①			1		○			2	1					オムニバス※1
	灌漑工学特論	1・2①			1		○			1	2				1	オムニバス
	Advanced Topics on Irrigation Engineering	1・2②			1		○			2	1					オムニバス※2
	小計 (14科目)	—		0	14	0	—	—	—	13	8	0	2	0	1	
専門科目 応用植物科学系科目	植物環境制御学特論 Advanced Topics of Environmental Control in Plant Production	1・2②			1		○			1						※1
	植物生態工学特論 Biosystems and Greenhouse Engineering	1・2①			1		○			1	1					オムニバス※1
	植物細胞工学特論 Biotechnology	1・2①			1		○			1	1					オムニバス※1
	植物ゲノム科学特論 Advanced Topics of Plant Genome Science	1・2集中			1		○			1						※1
	農業生産技術学特論 Advanced Topics of Plant Production Control	1・2集中			1		○			1						※1
	分子植物病理学特論 Advanced Topics of Molecular Plant Pathology	1・2③			1		○			1						※1
	食料, 農業政策学特論	1・2②			1		○				1					
	比較生化学特論 Advanced Topics of Comparative Biochemistry	1・2集中			1		○			1						※1
	動物ゲノム多様性学特論	1・2集中			1		○				1					
	動物発生工学特論	1・2③, ④			1		○						1			
応用動物科学系科目	動物飼養学特論 Advanced Topics of Animal Feeding	1・2集中			1		○			1						※1
	動物園学特論	1・2③			1		○			1						
	動物環境生理学特論	1・2集中			1		○						1			
	野生動物管理実務特論	1・2③			1		○			1						
	外来種管理学特論	1・2③, ④			1		○				1					
	魚類生態学特論	1・2①			1		○			1						
	魚類生態学特論	1・2①			1		○			1						
	地域資源生態学特論 Advanced Topics of Regional Resource Ecology	1・2④			1		○				1					※1

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)			
系 科 目		山地資源管理学特論 Advanced Topics of Forestry and Woodland Managemant	1・2集中			1		○					1					※1	
		陸域環境物理学特論 Advanced Topics of Environmental Biophysics in Terrestrial Ecosystem	1・2①			1		○						1				※1	
		化学生態学特論 Advanced Topics of Chemical Ecology	1・2③			1		○						1				※1	
		水圏環境学特論	1・2集中			1		○						1					
		森林動物管理学特論	1・2集中			1		○						1					
		水利計算学特論	1・2④			1		○				1							
		環境プロセス解析 Environmental Process Analysis	1・2②			1		○						1				※1	
		水質制御工学 Water Quality Control Engineering	1・2③			1		○				1						※1	
		水環境科学特論 Aquatic Environmental Science	1・2①			1		○						1				※1	
		先端水質制御工学 Advanced Water Quality Control Engineering	1・2④			1		○				1	1					オムニバス※1	
		地域環境文化特論 Regional Environment Cultural Studies	1・2①, ②			1		○				1	1					オムニバス 隔年※1	
		地球環境文化特論 Global Environment Cultural Studies	1・2③, ④			1		○				1	1					オムニバス 隔年※1	
		地域環境社会特論 Regional Environment Social Studies	1・2①, ②			1		○				1	1					オムニバス 隔年※1	
		地球環境社会特論 Global Environment Social Studies	1・2③, ④			1		○				1	1					オムニバス 隔年※1	
	A	Advanced Topics of Crop Production and Agribusiness	1・2集中				1		○				5	1				1	オムニバス※2
	P	Advanced Topics of Animal Science	1・2集中				1		○				6	3		2			オムニバス※2
専 攻 横 断		生物多様性条約およびカルタヘナ議定	1・2集中		1		○										3	オムニバス	
小計 (35科目)			—	—	0	35	0	—			14	15	0	2	0	7			
合計 (74科目)			—	—	16	67	0	—			21	19	0	5	0	46			
※1 通常コース、アドバンスドグローバルコース共通科目 ※2 アドバンスドグローバルコース専用科目																			
学位又は称号		修士 (応用生物科学)			学位又は学科の分野				農学関係										
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法									授業期間等										
研究科共通科目 3 単位 (必修 2 単位を含む。) 以上、研究科横断科目 2 単位 (必修 2 単位を含む。) 以上、専門研究科目 1 4 単位 (必修 1 2 単位及び選択必修 2 単位を含む。) 以上、領域コア科目 3 単位以上、専門科目 4 単位以上、合計 3 0 単位以上修得すること。 <アドバンストグローバルプログラム> 研究科共通科目 4 単位以上、専門研究科目 1 4 単位以上、領域コア科目 2 単位以上、専門科目 4 単位以上を修得し、合計 3 0 単位以上修得すること。									1 学年の学期区分					4期					
									1 学期の授業期間					8週					
									1 時限の授業の標準時間					90分					

教 育 課 程 等 の 概 要																
（自然科学技術研究科 環境社会基盤工学専攻）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員 （ 助 手 を 除 く ）	
研究科 共通科目	実践英語 Scientific Communications	1・2通			1		○								2	※1
	デザイン思考序論	1・2①, ②		1			○								2	オムニバス
	Scientific Presentation	1・2③, ④			1		○								1	※2
	知財論	1・2④			1		○								2	オムニバス
	科学者倫理	1・2③		1			○								4	オムニバス
	デザイン思考トレーニング	1・2③, ④			1		○								1	オムニバス
	リーダーシップ入門	1・2②			1		○			1					2	オムニバス
	アカデミックキャリア Academic Career	1・2通			1			○		13	10		2			※1
	インターンシップA I Internship A I	1・2通			1			○		13	10		2			※1
	インターンシップA II Internship A II	1・2通			1			○		13	10		2			※1
	インターンシップB I Internship B I	1・2通			2			○		13	10		2			※1
	インターンシップB II Internship B II	1・2通			2			○		13	10		2			※1
	小計（12科目）	—	—	2	12	0	—			13	10	0	2	0	16	
横断 研究 科目	先端生命科学特論	1・2①, ②		1			○								9	オムニバス
	先端環境科学特論	1・2①, ②			1		○			2	2				5	オムニバス
	先端創造科学特論	1・2①, ②		1			○								9	オムニバス
	小計（3科目）	—	—	2	1	0	—			2	2				23	
専門 研究 科目	特別研究 Master's Thesis Research	1・2通		8				○		13	10		2			※1
	演習 I Research Project I	1・2通		1				○		13	10		2			※1
	演習 II Research Project II	1・2通		1				○		13	10		2			※1
	演習 III Research Project III	1・2通		1				○		13	10		2			※1
	演習 IV Research Project IV	1・2通		1				○		13	10		2			※1
	インフラマネジメントPBL A	1・2①, ②			1		○			5	1					
	インフラマネジメントPBL B	1・2③, ④			1		○			5	1					
	特別講義 I Special Lecture I	1・2集中			1		○			13	10		2			※1
	特別講義 II Special Lecture II	1・2集中			1		○			13	10		2			※1
	特別講義 III	1・2集中			1		○			13	10		2			
	特別講義 IV	1・2集中			1		○			13	10		2			
	橋梁維持管理特論	1・2集中			1		○			2						
	土構造維持管理特論	1・2集中			1		○			3						
	維持管理マネジメント特論	1・2集中			1		○			2						
	小計（14科目）	—	—	12	9	0	—			13	10	0	2	0	0	
領域 コア 科目	環境プロセス解析 Environmental Process Analysis	1・2②			1		○				1					※1
	水質制御工学 Water Quality Control Engineering	1・2③			1		○			1						※1
	環境地質学	1・2①			1		○			1						隔年
	Environmental Geology	1・2①			1		○			1						隔年※2
	先端地域デザイン論	1・2①			1		○			3						オムニバス

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員	
	流域環境工学	1・2①			1		○			1						オムニバス オムニバス オムニバス※2
	地盤と斜面Ⅰ	1・2集中			1		○			2					1	
	地盤と斜面Ⅱ	1・2集中			1		○			2						
	Advanced Environmental Engineering	1・2①			1		○			8	5					
	防災															オムニバス 隔年 隔年※2 オムニバス オムニバス ※2 オムニバス※2
	地盤の力学挙動	1・2①			1		○			1						
	地盤の浸透挙動	1・2②			1		○			1						
	先端地域デザイン論	1・2①			1		○			3						
	水防災工学	1・2①			1		○				1					
	地震リスク解析	1・2②			1		○			1						
	Seismic Risk Analysis	1・2②			1		○			1						
	橋梁の維持管理Ⅰ	1・2集中			1		○			2						
	橋梁の維持管理Ⅱ	1・2集中			1		○			3	1					
	Advanced Steel Structures	1・2②			1		○				1					
	Advanced Disaster Reduction Engineering	1・2①			1		○			6	7					
	小計（19科目）	—	—	0	19	0	—	—	—	11	8	0	0	0	1	
専門 科目	環境系科目															※1 オムニバス※1
	水環境科学特論Aquatic Environmental	1・2①			1		○				1					
	先端水質制御工学Advanced Water Qua	1・2④			1		○			1	1					
	気象環境システム論	1・2②			1		○			1						
	流域圏環境気象学	1・2③			1		○			1						
	流域環境デザイン	1・2④			1		○			1						
	防災系科目															隔年 隔年
	先端コンクリート工学	1・2③			1		○			1						
	地震動解析	1・2③			1		○				1					
	総合防災特論	1・2②			1		○				1					
	都市防災デザイン論	1・2②			1		○			1						
	専攻横断科目															隔年 オムニバス 隔年
	建設材料科学特論	1・2①			1		○			1						
	橋梁工学特論	1・2②			1		○			1						
	地盤の調査	1・2③			1		○			3	1					
	プロジェクト評価特論	1・2④			1		○			1						
	応用交通デザイン学	1・2①			1		○			1						

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 （ 助 手 を 除 く ） 以 外 の 教 員			
系		大気海洋システム論	1・2④			1		○			1						1	オムニバス	
		水理解析学	1・2②			1		○				1		1					
		水文解析学	1・2③			1		○				1							
		データ解析論	1・2①			1		○			2								オムニバス
		都市形成史	1・2④			1		○			1								
		灌漑工学特論	1・2①			1		○			1	2							オムニバス
		気象学特論Ⅰ	1・2①			1		○			2								オムニバス 履修制限あり
		気象学特論Ⅱ	1・2②			1		○			2								オムニバス 履修制限あり
		気象データサイエンス論Ⅰ	1・2①			1		○			2								オムニバス 履修制限あり
		気象データサイエンス論Ⅱ	1・2②			1		○			2								オムニバス 履修制限あり
		気象データ基礎Ⅰ	1・2③			1		○			1								履修制限あり
		気象データ基礎Ⅱ	1・2④			1		○			1								履修制限あり
		気象データ応用Ⅰ	1・2③			1		○			1								履修制限あり
		気象データ応用Ⅱ	1・2④			1		○			1								履修制限あり
		地域環境文化特論 Regional Environment Cultural Studies	1・2①, ②			1		○			1	1							オムニバス 隔年※1
		地球環境文化特論 Global Environment Cultural Studies	1・2③, ④			1		○			1	1							オムニバス 隔年※1
		地域環境社会特論 Regional Environment Social Studies	1・2①, ②			1		○			1	1							オムニバス 隔年※1
		地球環境社会特論 Global Environment Social Studies	1・2③, ④			1		○			1	1							オムニバス 隔年※1
		先端インフラマネジメント（鋼, コンクリート）	1・2④			1		○			3								オムニバス
		先端インフラマネジメント（土, 地盤）	1・2④			1		○			2								オムニバス
		インフラマネジメント論	1・2集中			1		○			1								
		橋梁の設計・トンネルⅠ	1・2集中			1		○			2								オムニバス
		橋梁の設計・トンネルⅡ	1・2集中			1		○			1	1							オムニバス
		土構造物と舗装・水道・河川構造物Ⅰ	1・2集中			1		○			1								
		土構造物と舗装・水道・河川構造物Ⅱ	1・2集中			1		○			2								オムニバス
		インフラマネジメントⅠ	1・2集中			1		○			2								オムニバス
		インフラマネジメントⅡ	1・2集中			1		○			2								オムニバス
	系	A	Advanced Disaster Mitigation		1・2①			1		○				1					隔年※2
		G	Advanced Concrete Engineering		1・2③			1		○			1					隔年※2	
		P	Advanced Construction Materials		1・2①			1		○			1					隔年※2	

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
科目 目	Transport Studies for Sustainable Society	1・2①			1		○			1						隔年※2	
	Atmosphere and Ocean Dynamics	1・2④			1		○			1						※2	
	Environmental Meteorology	1・2③			1		○			1						※2	
	Advanced Materials Science and Engineering	1・2①			1		○			1						※2	
	小計 (48科目)		—	—	0	48	0	—			13	6	0	1	0	12	
合計 (96科目)		—	—	16	89	0	—			13	10	0	2	0	45		
※1 通常コース、アドバンスドグローバルコース共通科目																	
※2 アドバンスドグローバルコース専用科目																	
学位又は称号		修士 (工学)			学位又は学科の分野				工学関係								
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等								
研究科共通科目3単位 (必修2単位を含む。) 以上、研究科横断科目2単位 (必修2単位を含む。) 以上、専門研究科目14単位 (必修12単位及び選択必修2単位を含む。) 以上、領域コア科目3単位以上、専門科目4単位以上、合計30単位以上修得すること。 ＜アドバンストグローバルプログラム＞ 研究科共通科目4単位以上、専門研究科目14単位以上、領域コア科目2単位以上、専門科目4単位以上を修得し、合計30単位以上修得すること。									1学年の学期区分				4期				
									1学期の授業期間				8週				
									1時限の授業の標準時間				90分				

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(地域科学研究科 地域政策専攻)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)		
研究科共通科目	地域科学特別講義I	1前・1後			2		○									1	
	地域科学特別講義II	1前・1後			2		○								1		
	地域科学特別講義III	1前・1後			2		○								1		
	地域科学特別講義IV	1前・1後			2		○								1		
	地域科学特別講義V	1前・1後			2		○								1		
	地域科学特別講義VI	1前・1後			2		○								1		
	小計（6科目）	—	—		12		—		0	0	0	0	0	0	6		
修了研究科目	特別演習I	1前		2			○		7	6							
	特別演習II	1後		2			○		7	6							
	特別演習III	2前		2			○		7	6							
	特別演習IV	2後		2			○		7	6							
	特別研究	1前		2			○		7	6							
	小計（5科目）	—	—	10		—		7	6	0	0	0	0				
経済社会領域	地域産業特論	1前			2	○									1		
	理論経済学特論	1後			2	○				1							
	計量経済学特論	1前			2	○			1								
	比較経済体制論特論	1前			2	○			1								
	中小企業論特論	1後			2	○			1								
	小計（5科目）	—	—	4	6	—		1	3	0	0	0	1				
行政社会領域	行政法特論	1前			2	○				1							
	社会政策特論	1前			2	○						1					
	行政学特論	1前			2	○											
	憲法特論	1後			2	○					1						
	地方財政論特論	1前			2	○								1			
	民事法特論	1後		2	○			1									
小計（6科目）	—	—	4	8	—		2	1	0	2	0	1					
自然環境領域	環境物理学特論	1後			2	○			1								
	保全生態学特論	1前			2	○								1			
	応用生態特論	1前			2	○								1			
	数理システム特論	1後			2	○			1								
	数理化特論	1前			2	○			1								
	環境計量化学特論	1後			2	○				1							
	環境心理学特論	1前			2	○			1								
	都市環境工学特論	1後			2	○				1							
	数理物理学特論	1前			2	○						1					
	小計（9科目）	—	—	4	14	—		4	2	0	1	0	2				
合計（21科目）		—	—	10	24	28	—		7	6	0	3	0	10			
学位又は称号		修士（地域科学）		学位又は学科の分野		経済学関係及び社会学・社会福祉学関係											
卒業・修了要件及び履修方法								授業期間等									
必修科目10単位以上、選択必修科目4単位以上、自由選択科目16単位以上を習得 合計30単位以上修得すること。								1 学年の学期区分				2期					
								1 学期の授業期間				15週					
								1 時限の授業の標準時間				90分					

授 業 科 目 の 概 要				
(社会システム経営学院)				
科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修 科目	コア 科目	社会システム経営学特論	(授業概要) この授業では、さまざまな地域の経営課題を、企業組織からの視点だけではなく、社会システム（行政、自治組織、営利組織、地域住民、環境・生態系、テクノロジーなどのつながり）のなかで捉え、あらゆるモノや分野をつなげて解決を目指すとするシステム思考に基づいて経営課題を解決していく思考力を養う。 文理の領域を超えた幅広い関連領域の教員から、システム思考にもとづいた経営課題の解決策を検討すべきに関連トピックについて解説を行うとともに、当該トピックについて授業内において意見交換やグループディスカッションを行う。 (目標) ・システム思考にもとづいて経営課題の解決策を考えられるようになる。 ・システム思考にもとづいた解決策を言語化し、意見交換やディスカッションができる能力を身に着ける。 ・グループディスカッションなどを通じて、自らと他人の見解を合わせたより優れた解決策を導出する能力を身に着ける。 (オムニバス方式/全15回) (4 篠田朝也/3回) 社会システム経営学の概要、アカウンティングとシステム思考、社会システム経営学の振り返り (3 加藤厚海/1回) 企業間連携とシステム思考 (8 柴田仁夫/1回) マーケティングとシステム思考 (5 後藤尚久/1回) ファイナンスとシステム思考 (10 市来寄治/1回) 生産管理とシステム思考 (13 川瀬真弓/1回) デザイン経営とシステム思考 (1 三井栄/1回) 観光マネジメントとシステム思考 (12 奥岡桂次郎/1回) 環境経営とシステム思考 (9 李侖美/1回) 農業経営とシステム思考 (11 森部絢嗣/1回) 地域デザインとシステム思考 (6 出村嘉史/1回) まちづくりとシステム思考 (2 高木朗義/1回) リスクマネジメントとシステム思考 (7 大原基秀/1回) スタートアップとシステム思考	オムニバス方式
選択 必修	コア 科目	事業創造特論	(授業概要) 本講義では主に、中小企業・ベンチャー企業を対象として、事業創造に関わる実践的内容と学術的内容の両面を学ぶ。前半の実践的内容は、起業家、イノベーション、スモールビジネスとベンチャービジネスの相違点、ビジネスモデルなどについて学び、特にビジネスモデルに重きを置いた学びである。一方で後半の学術的内容は、同族経営、サプライヤー・システム、社会ネットワーク、起業の民主化、起業家の認知、プラットフォームビジネス、アントレプレナー・エコシステムなどの幅広い内容に対して、理論と概念に重きを置いた学びとなる。また、前半は講義形式、後半は担当者による報告形式となる。 (目標) ・新しい事業を創造するためビジネスモデルとフレームワークについて理解し、学んだフレームワークを使いこなせること。 ・関連する概念と理論を理解し、学術論文を理解する上での基礎的な知識を得ること。 ・理論と概念を使って、現実を説明できること。	オムニバス方式

				(オムニバス方式/全15回) (8 柴田仁夫/7回) ガイダンス 起業家について：新しい事業を創造する起業家について考える。 イノベーションについて：イノベーションとは何か、その理論を学ぶ。 スモールビジネスとベンチャー企業：スモールビジネスとベンチャー企業の違いについて考える。 企業とビジネスモデル①：企業とは何かについて考える。 企業とビジネスモデル②：ビジネスモデルとは何かについて考える。 企業とビジネスモデル③：実際の企業のビジネスモデルについて考える。 (3 加藤厚海/8回) ものづくり中小企業の歴史的展開、同族企業の経営 中小企業とサプライヤー・システム 中小企業と社会ネットワーク 起業の民主化と理論的視点、起業家の認知 起業と組織、起業をめぐる環境 ベンチャーとスタートアップ、プラットフォーム・ビジネス スピンアウトとスタートアップ、アントレプレナー・エコシステム	
選択必修	コア科目	経営組織特論		(授業概要) マネジメント理論には、経営組織論/マクロの組織理論と組織行動論/ミクロの組織理論がある。本講義では経営組織論/マクロの組織理論が中心となるが、経済学ベースの理論、社会学ベースの理論、認知心理学ベースの理論の中から代表的なものを学ぶ。授業は講義形式ではなく、学生が毎回報告し、皆で議論し、理解を深めることとする。 (目標) ・経営組織論の主要な概念と理論を理解し、学術論文を理解する上での基礎的な知識を得ること。 ・理論を使って、現実を説明できること。	
選択必修	コア科目	マーケティング特論		(授業概要) マーケティングは企業だけでなく、全ての組織にとって欠かせない。何故なら企業にとって“自社の製品やサービスを売るためのしくみをつくること”であるマーケティングは、社会の中でその概念が拡張され、ありとあらゆる組織でマーケティングが活用されているからである。 それ故何らかの組織に所属している人は好むと好まざるに関わらず所属組織のマーケティング戦略を実行しているといえる。しかし、それ故マーケティングを正しく理解していないと組織が構築した戦略は絵に描いた餅になってしまう。本講義では、マーケティングの体系を理解し、さらに基本的な用語や考え方だけでなく、マーケティング概念が拡張されたサービス、生産財、グローバル、ソーシャル、デジタルの各分野についてもその考え方を修得し、最後は毎講義の最後に数人でグループディスカッションを行い、講義での気づきを確認する。 (目標) ・マーケティングの体系を理解する。 ・マーケティングの基本的な用語や考え方を理解した上で、製品だけでなくサービス、生産財、グローバル、ソーシャル、デジタルの各分野にマーケティングが拡張され、活用されているか理解する。	
選択必修	コア科目	会計学特論		(授業概要) この授業では、企業経営の実態や課題を分析するうえで必要となる会計学の知識を身に着ける。特に、実務においても有益となる実践的な財務分析の能力を涵養することに力点を置く。授業では、担当教員から財務分析に必要な会計学の重要知識について解説を行った後、受講生は実際の企業のデータを用いて財務分析をし、その内容を講義内で発表する。発表内容については、受講生同士で意見交換やディスカッションも行う。損益分岐点分析や限界利益思考など、管理会計上、重要となる内容についても扱う。財務分析を通じて、企業の経営状況、現在の競争優位や将来の課題などについて考える力を養う。 (目標) ・企業経営に役立つ会計学の知識を身に着ける。 ・実際の企業のデータを用いた財務分析ができるようになる。 ・財務分析の結果を適切に整理し、企業の経営状況や課題について分かりやすく分析・報告できるようになる。	
選択必修	コア科目	ファイナンス特論		(授業概要) 企業財務上の重要項目である資金調達、投資決定、配当に関するコーポレート・ファイナンス理論を学び、企業価値を高める財務活動について経営者視点から考察する。また、各单元ごとに事例を挙げながら議論する。 (目標) ・企業の資金調達と企業価値の関係が説明できる。 ・企業の投資決定について説明できる。 ・企業の配当政策について説明できる。	

選択必修	コア科目	データリサーチ特論	(授業概要) マーケティングには、様々な課題が存在する。例えば、宣伝効果の評価や顧客の満足度の確認などがあげられる。マーケティング・リサーチは、こうした課題の解決に判断材料を提供する重要な役割を果たすことができる。 この授業では、マーケティング・リサーチの基礎および代表的な手法であるアンケート調査について学び、将来のビジネス活動や経営においてアンケート調査を実施し、収集したデータを活用した意思決定ができる能力を身につけることを目的とする。 (目標) ・マーケティング・リサーチに関する基礎知識を身につけること ・アンケートより収集したデータを適切な方法で分析できること ・分析で得られた結果を解釈・説明できること	
選択必修	コア科目	デザイン思考特論	(授業概要) 突然ですが、次の文章を自分事としてお読みください「目の前の人のQoLや満足度を向上させるのための商品やサービスをつくり、提供してください」といわれたらあなたは何をどのように考え、提供しますか。」 デザイン思考 (Design Thinking) は、元々はデザイン分野において製品やサービスの創造的な問題解決に焦点を当てる方法論として紹介されてきた。現在ではビジネス分野や政策立案、教育分野、環境分野にも広く適用されている。 デザイン思考を用いると、手がかりがない中でも(冒頭文のような依頼があったとしても)、何かを創出する上で欠かせないプロセスを構築し、新規性・有用性を含んだ成果物を創出することができる。社会で必要とされている思考ツールだが、デザイン思考力を習得する方法は自身で見つける必要があり、一人では進みにくい。本授業では、デザイン思考の講義ならびにデザイン思考の特徴を活用した協働による演習活動により、デザイン思考の要であるデザインプロセスづくりを実践的に理解、実施し、受講者の創造力、イノベーション力、問題解決力の向上を目指す。 (目標) 本科目は6コマをとおり、次の内容について学習する。講義と実践を通して理解を深め、最終的には説明できるようにしよう。 ・デザイン思考の基礎理論 ・問題解決過程の認知科学的な理論 ・ファシリテーションを用いたワークショップデザインの設計理論	
必修科目	コア実習	社会システム経営学実習	(授業概要) 本実習では、実際の企業・組織や地域の問題などを取り上げ、課題の明確化や対策の検討に取り組むことで、社会システム経営について実践的に学習する。学生はグループに分かれ、学習中あるいは学修済の知識を活用しながら、デザイン思考的に課題の把握と明確化に取り組む。その後、その対策について、インタビューや文献調査を交えながら検討を進める。最後は、その成果について発表する。 本演習では、時間内はグループによる活動が中心になり、時間外にも個別に調査・分析や発表の準備をすることを想定している。 (目標) ・課題の把握と明確化について実践できる ・明確化した課題に対する対策を検討し発表できる (共同方式/全15回) (4 篠田朝也・10 市来寄治/15回) (共同) 1. イントロダクション 2. 事前分析① 3. 事前分析② 4. 事前分析③ 5. 事前分析④ 6. 事前分析⑤ 7. 対策の検討① 8. 対策の検討② 9. 対策の検討③ 10. 対策の検討④ 11. 対策の検証① 12. 対策の検証② 13. 対策の検証③	

必修科目	専門演習Ⅰ (プロジェクト演習)		(授業概要) 専門演習ⅠからⅣでは、他の科目の履修を通じて修得した経営専門知や経営思考力を活かしながら、受講生が自らテーマに掲げた個別具体的な経営課題の解決策の社会的実装に取り組むとともに、その成果を最終的には修士論文としてまとめることを目指す。 専門演習Ⅰでは、最初の第1段階として、指導教員の指導の下で、研究テーマにおける「課題の発見と特定」「関連領域の先行研究の収集・整理」等に努める。また、修士論文の執筆に関する基礎的事項（論文の形式や構成、研究倫理の重要性の確認、具体的な研究方法の類型に関する解説等）についても適宜指導を行う。 受講生の前提知識の水準、研究テーマ、進捗状況などは各自異なるため、指導教員とのディスカッションを通じた個別の研究指導（助言や支援）を中心とした内容となる。原則として、受講生は、毎回の授業に向けて、自らの研究課題を遂行し、その進捗報告のための事前準備をし、授業では受講生が自ら進捗報告を行うかたちで進められる。授業外では修士論文作成に向けた研究時間の確保が求められる。 (目標) ・修士論文の執筆に向けて研究テーマに関連する課題を発見し、特	
必修科目	専門演習Ⅱ (プロジェクト演習)		(授業概要) 専門演習ⅠからⅣでは、他の科目の履修を通じて修得した経営専門知や経営思考力を活かしながら、受講生が自らテーマに掲げた個別具体的な経営課題の解決策の社会的実装に取り組むとともに、その成果を最終的には修士論文としてまとめることを目指す。 専門演習Ⅱでは、第2段階として、指導教員の指導の下で、専門演習Ⅰで特定した研究課題をベースにしたうえで、「研究の意義や位置づけの明確化」「解決策のアイデア出し」「採用する研究方法の検討」「社会実装に向けた計画の策定」等に努める。いずれにおいても先行研究の収集とその理解が求められるため、引き続き必要に応じて先行研究のレビューは行われる。 受講生の前提知識の水準、研究テーマ、進捗状況などは各自異なるため、指導教員とのディスカッションを通じた個別の研究指導（助言や支援）を中心とした内容となる。原則として、受講生は、毎回の授業に向けて、自らの研究課題を遂行し、その進捗報告のための事前準備をし、授業では受講生が自ら進捗報告を行うかたちで進められる。授業外では修士論文作成に向けた研究時間の確保が求められる。 (目標) ・修士論文の執筆に向けて、研究課題の意義や位置づけを明確化する。 ・具体的な経営課題の解決のためのアイデアをまとめる。 ・当該研究課題の解決ために採用する研究方法の検討と社会実装に向けた計画を立案する。	
必修科目	専門演習Ⅲ (プロジェクト演習)		(授業概要) 専門演習ⅠからⅣでは、他の科目の履修を通じて修得した経営専門知や経営思考力を活かしながら、受講生が自らテーマに掲げた個別具体的な経営課題の解決策の社会的実装に取り組むとともに、その成果を最終的には修士論文としてまとめることを目指す。 専門演習Ⅲでは、第3段階として、指導教員の指導の下で、専門演習Ⅱで検討した「解決策のアイデア」「採用する研究方法」「社会実装に向けた計画」等に基づいて、具体的なデータの収集やその分析等に取り組む。データの収集や分析に際して、データのタイプ、収集方法、分析方法などについて理解を深めて、適切な取り扱いができるように指導教員とディスカッションをする。いずれにおいても先行研究の収集とその理解が求められるため、引き続き必要に応じて先行研究のレビューは行われる。 受講生の研究テーマ、進捗状況などは各自異なるため、指導教員とのディスカッションを通じた個別の研究指導（助言や支援）を中心とした内容となる。原則として、受講生は、毎回の授業に向けて、自らの研究課題を遂行し、その進捗報告のための事前準備をし、授業では受講生が自ら進捗報告を行うかたちで進められる。授業外では修士論文作成に向けた研究時間の確保が求められる。 (目標) ・修士論文の執筆に向けて、研究課題に応じて提案された解決策に関連する、データのタイプ、収集方法について、適切な取り扱い	

必修科目	(プロジェクト演習) 専門演習	専門演習Ⅳ		(授業概要) 専門演習ⅠからⅣでは、他の科目の履修を通じて修得した経営専門知や経営思考力を活かしながら、受講生が自らテーマに掲げた個別具体的な経営課題の解決策の社会的実装に取り組むとともに、その成果を最終的には修士論文としてまとめ上げることを目指す。 専門演習Ⅳでは、最終段階として、指導教員の指導の下で、専門演習Ⅲまでで検討した研究課題に関する「分析結果」等に基づいて、研究課題の具体的な解決策に関する結論をまとめるとともに、その結論が持つ意義や限界について整理する。そのうえで、これまでの演習の集大成として修士論文を完成させる。 受講生の研究テーマ、進捗状況などは各自異なるため、指導教員とのディスカッションを通じた個別の研究指導（助言や支援）を中心とした内容となる。原則として、受講生は、毎回の授業に向けて、自らの研究課題を遂行し、その進捗報告のための事前準備をし、授業では受講生が自ら進捗報告を行うかたちで進められる。授業外では修士論文作成に向けた研究時間の確保が求められる。 (目標) ・各自の研究テーマに応じた一定の結論を導き出す。 ・結論がもつ意義や限界について、適切に整理する。 学術的・実務的価値のある修士論文を完成させる	
必修	ストレートマスター	ビジネス実習Ⅰ		(授業概要) この授業は、企業や自治体をはじめとする実際の組織現場に触れながら、当該現場の課題を発見して、多角的な経営思考力と経営学の専門知を活かした課題の解決策を、実際の現場に対して提案することを目的とする。実習先は、社会システム経営学院と協力関係にある組織の現場（対象サイト）において行われる。なお、この授業では、現場での実習を行うだけではなく、事前の準備学習を通じた実習計画の策定について対象サイトおよび演習指導教員と綿密に打ち合わせを行う。また、実習中も、演習指導教員の指導の下で、進捗状況を共有する。実習終了後には、対象サイトへ課題解決策に関する最終報告書の作成と提出及び発表を行う。さらに、最終報告に対する対象サイトからのフィードバックを受けたうえで、最終的な学びの振り返りをレポートとして取りまとめる。したがって、この実習については、実習前、実習後においても実習時間外の学習が不可欠となる。この授業での学びを修士論文の作成にもつなげることを期待する。 なお、ビジネス実習ⅠとⅡでは、「開講学期（前学期・後学期）」と「対象サイト」が異なるため、異なる特徴を有する対象サイトから、異なる学びを得られる。 (目標) ・多角的な経営思考力（データ分析・論理的思考力/デザイン思考力/システム思考力）を運用して、適切に経営課題を抽出することができるようになる。 ・体系的な経営専門知を対象サイトの具体的事例に応用するための実践的課題解決力を身に着ける。 ・対象サイトのメンバーとのやり取りを適切に実施するコミュニケーション力をはじめとする組織内マネジメント力を涵養する。 ・これまでにない新しい課題解決策を考案できるようになる。	
必修	ストレートマスター	ビジネス実習Ⅱ		(授業概要) この授業は、企業や自治体をはじめとする実際の組織現場に触れながら、当該現場の課題を発見して、多角的な経営思考力と経営学の専門知を活かした課題の解決策を、実際の現場に対して提案することを目的とする。実習先は、社会システム経営学院と協力関係にある組織の現場（対象サイト）において行われる。なお、この授業では、現場での実習を行うだけではなく、事前の準備学習を通じた実習計画の策定について対象サイトおよび演習指導教員と綿密に打ち合わせを行う。また、実習中も、演習指導教員の指導の下で、進捗状況を共有する。実習終了後には、対象サイトへ課題解決策に関する最終報告書の作成と提出及び発表を行う。さらに、最終報告に対する対象サイトからのフィードバックを受けたうえで、最終的な学びの振り返りをレポートとして取りまとめる。したがって、この実習については、実習前、実習後においても実習時間外の学習が不可欠となる。この授業での学びを修士論文の作成にもつなげることを期待する。 なお、ビジネス実習ⅠとⅡでは、「開講学期（前学期・後学期）」と「対象サイト」が異なるため、異なる特徴を有する対象サイトから、異なる学びを得られる。 (目標) ・多角的な経営思考力（データ分析・論理的思考力/デザイン思考力/システム思考力）を運用して、適切に経営課題を抽出することができるようになる。 ・体系的な経営専門知を対象サイトの具体的事例に応用するための実践的課題解決力を身に着ける。 ・対象サイトのメンバーとのやり取りを適切に実施するコミュニケーション力をはじめとする組織内マネジメント力を涵養する。 ・これまでにない新しい課題解決策を考案できるようになる。	

選択必修	実務家演習	実務家演習Ⅰ		(授業概要) この授業では、DXを活用した中小企業の経営改善を支援するコンサルティングファームにおいて、実務の現場で活躍する実務家をゲストとして招聘して、中小企業の経営課題とその解決策に関する考え方などについて事例や実務実践を通じた解説を受ける。あわせて、受講生に対しても、事例を想定した具体的な経営課題の解決策に関するアイデア出しなどに取り組む演習機会も課すことで、実践的な課題解決力などを養い、経営の専門知と思考力に関する応用力と汎用性の向上を図る。 (目標) ・実務現場における経営課題について理解を深めて、実践的な経営課題の解決能力を向上させる。 ・高度な経営専門知と多角的な経営思考力を活かした経営課題解決に関する実践力を養う。 ・DX領域のテクノロジーを活用しながら、経営課題の新しい解決策を探る実践力を養う。	
選択必修	実務家演習	実務家演習Ⅱ		(授業概要) この授業では、主に管理会計を中心とした「会計」を活用して、中小企業の経営改善を支援する会計事務所による経営改善支援をテーマとして、実務の現場で活躍する実務家（コンサルタント）をゲストとして招聘し、中小企業の経営課題とその解決策に関する考え方などについて事例や実務実践を通じた解説を受ける。あわせて、受講生に対しても、事例を想定した具体的なロールプレイや、経営課題の解決策の提言などに取り組む演習機会も課すことで、実践的な課題解決力などを養い、経営の専門知と思考力に関する応用力と汎用性の向上を図る。 (目標) ・実務現場における経営課題について理解を深めて、実践的な経営課題の解決能力を向上させる。 ・高度な経営専門知と多角的な経営思考力を活かした経営課題解決に関する実践力を養う。 ・管理会計を活用しながら、主に中小企業の経営課題の新しい解決策を探る実践力を養う。	
選択必修	実務家演習	実務家演習Ⅲ		(授業概要) この授業では、主に経営トップマネジメント層が考える経営課題の改善や解決をテーマとして、実務の現場で活躍する経営トップマネジメントを複数名ゲストとして招聘し、企業の経営課題に関する認識について受講生との間で情報共有をしてもらい、意見交換を行う機会を設ける。 あわせて、企業の経営トップマネジメントが認識する経営課題について、受講生が解決策を検討し、提言する演習機会も課す。これらの機会を通じて、実践的な課題解決力などを養い、経営の専門知と思考力に関する応用力と汎用性の向上を図る。 (目標) ・実務現場における経営課題について理解を深めて、実践的な経営課題の解決能力を向上させる。 ・高度な経営専門知と多角的な経営思考力を活かした経営課題解決に関する実践力を養う。 ・経営トップマネジメントと適切なコミュニケーションを図りながら、経営課題の新しい解決策を探る実践力を養う。	
選択科目	応用科目	基本データツール		(授業概要) データ解析を行う上で、プログラミングは極めて重要な手段の一つである。本講義では、Pythonの基本的な使い方から、それらを活用して機械学習などを行う方法について説明する。 (目標) Pythonに関する基本的な知識について学ぶとともに、計算機を使って実際に実行できることを目標とする。	

選択科目	応用科目	リーダーシップ特論	(授業概要) 組織活動を円滑に行うためにはリーダーシップが不可欠であり、リーダーシップのあり方（組織リーダーの影響力）によって、組織活動の成果は左右される。したがって、経営組織の構成員はリーダーシップの重要性を認識し、有効なリーダーシップを学ぶ必要がある。 本講義では、組織論・組織行動論を基にリーダーシップの基本から応用まで幅広く学ぶ。さらに、実社会の経営組織体でリーダーシップを発揮しているトップリーダーによる講演を聴講し、リーダーシップと経営組織の活動成果の関連性を理解し、大学院生として認識しておくべきリーダーシップの本質を学ぶ。 (目標) ・リーダーシップ論/組織行動論に関わる主要な理論/概念を理解する。 ・経営組織におけるリーダーシップの必要性を認識する ・実践に繋がるリーダーシップの発揮手法の基本を理解する ・大学院生としてリーダーシップを意識した研究生生活を送ることができる (オムニバス方式/全8回) (3 加藤厚海/4回) イントロダクション 組織行動論とリーダーシップ論、リーダーシップ論に先立つ学術的背景：科学的管理法とホーソン実験、リーダーシップ論：ミシガン州立研究・PM理論・コンティンジェンシー理論、リーダーシップ論：変革型・カリスマ型リーダーシップ 組織文化とリーダーシップ (2 高木朗義/4回) リーダーシップとは？、リーダーシップとアントレプレナーシップのリアル、リーダーシップとアントレプレナーシップのリア	オムニバス方式
選択科目	応用科目	人事管理特論	(授業概要) 人を育て人を活かし、企業を社会の財産として次世代に繋いでいく経営の実学を学びます。 持続可能な社会の一員として機能し、生活者を幸せにする企業経営は、自社の理念に忠実に仕える経営者と、その考えに共感し、やりがいを持って働く社員（非正規も含む）からしか生まれません。 企業経営では「ものをつくる前にひとをつくれ。ことをつくる前にひとをつくれ」といいます。そのような人を大切にする経営を実現する手法を学び、自社の革新に活かす应用能力（Applicable Ability）を磨きます。 (目標) ・企業内ビジネスマンである場合は、自社の企業文化と人づくり上の問題点を発見でき、変革の手順と方向性に気付くことができる。 ・企業を支援する士業の場合は、クライアントの企業文化と人づくり上の問題点を発見でき、変革の手順と方向性に気付き、アドバイスすることができる。 ・企業戦略の研究者野・学生の場合は、企業の成長発展の三本柱である「戦略」「組織」「人づくり」を加えられるので	
選択科目	応用科目	計量経済学特論	(授業概要) 理論経済学と統計学を統合した分野である計量経済学の基礎と応用に焦点をあてる。統計学の基礎的知識について習得していることを前提とした上で、計量経済学の手法として最小2乗法をはじめとした統計的分析方法を学ぶ。次に、実証分析の手段としての側面を学ぶため、シミュレーションや現実データを行い、経済分析の実践を修得する。 履修人数、履修希望者の基礎的能力や目的に応じてパソコンを用いた演習形式で進めるため、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。 (目標) ・統計的分析力を高める ・データやアンケート調査等を用いた実践的な分析方法を習得する ・各自の研究テーマに基づいた実証分析を試行する	
選択科目	応用科目	リスクマネジメント特論	(授業概要) 防災・減災を社会科学的な側面に立ち、リスクマネジメントの視点から捉えるための基礎理論と実践方法を学習する。 (目標) ・災害リスクマネジメントの基礎理論を理解する ・災害リスクマネジメントの実践方法を習得する	
選択科目	応用科目	プロジェクトマネジメント特論	(授業概要) 公共事業の経済的評価手法について、理論的な背景、適用範囲、実際の調査・分析手順について講義する。 また、各自で個別テーマを設定し、演習課題に取り組むことにより、環境経済評価手法を実践可能な技術として修得する。 (目標) ・プロジェクト評価の理論と実際について、基礎的な事項を理解する ・環境経済評価手法を実践可能な技術として修得する。	

選択科目	応用科目	生産管理特論	(授業概要) 生産管理に関する応用的な知識や考え方について学修する。生産活動を支える「仕事のシステム」の基本である人、もの、お金の三つの視点から議論する。はじめに、ものを効率的に流すトヨタ生産方式（TPS）の概況についてふれる。そして生産性向上のために人による改善活動のマネジメントについて、いくつかの側面から議論する。最後にそうした活動のための投資案の評価について、経済性工学の視点から議論する。 (目標) ・生産管理における応用的な知識を理解する ・それらを実際に活用するための考え方について理解する	
選択科目	応用科目	環境経営特論	(授業概要) 環境問題はさまざまなスケールで発生しており、政策、技術システム、インフラなど地域における人間活動に多大な影響を受けており、その解決の糸口として地域レベルの環境経営は重要である。また、環境経営を実行するには、対象となる地域に関わるさまざまな事象を定量的に把握し、地域の状況を説明する指標を整理することで、課題解決につなげる手法が必要である。 本特論では、地域における人間活動を対象に、環境面・社会面での影響を把握し、これを改善に役立てる手法について扱う。具体的には、文献調査や現地調査を中心に基本的な知識を深め、その後各自で課題設定をして、手法の習得を通じて課題解決のあり方を検討する。取り扱うツールは、フィールドワークや各種の社会調査法、地理情報システム(GIS)、社会システムのライフサイクルアセスメント(LCA)、環境効率、外部性評価(表明選好法など)などである。 (目標) ・環境システム・環境経済学に関して議論を行い、環境経営の理解能力を高める ・都市環境や社会環境における構成要素や主体を整理し、課題を発見かつその手段を伝える能力を身につける ・環境に関わるステイクホルダーを把握し、課題解決を提案する手法を習得する	
選択科目	応用科目	都市経営論	(授業概要) 都市が健全な場として機能するためには、適切な自治体運営やまちづくりを含めて都市を運営する対象として捉えるべきである。日本の状況は人口減少の局面に入っており、税収がこれまでのように十分にないなかで、まちを運営する主体も国・地方自治体だけでは財政的にも益々逼迫していく。従来型の高投資・高コストの運営では、公共施設や公共サービスは、今後の負担を重ねることになる。これからは、公共不動産活用を促進し、税収や雇用の減少に有効な対策を講じる必要がある。公民が連携して有効なパートナーシップを構築する道を含めて、都市経営という観点から、効果的かつ創造的な事業の組み立て・評価ができるよう学ぶ必要がある。本講義では、実際に都市の経営に有効な手だてが実践された事例からそのしくみや観点を学び、ケーススタディとしてサイトを調査・分析して経営の方策を提案するところまで組み立ての実践を行う。 (目標) ・都市経営とは何かについて、自身の見解を述べることができる。 ・有効な事例について、解説することができる。 ・実際の都市を対象に、問題の所在を把握し、対策について考案	
選択科目	応用科目	食料、農業政策特論	(授業概要) 日本の食料・農業・農村問題を歴史的に振り返りながら、かつ構造的に理解することを主眼とする。そのために、統計と政策資料・学術論文を利用しながら全体的な枠組みと変遷を理解することに努めるとともに、他方では具体的な事例を交えながら、私たちの日常の感覚のレベルから食料・農業・農村をめぐる問題の諸局面に接近する。そして、こうした諸問題について自ら考察する能力を養うことを目的とする。 (目標) 日本の食料・農業・農村が抱えている課題について理解し、食料の安定確保、持続的な農業の発展のために必要な政策にのあり方に関する知識を得ることを目的とする。	
選択科目	応用科目	農業経営特論	(授業概要) 各農業経営組織と経営主体に関する研究論文や文献の内容を発表し、その内容や論文の構成・論点などについてディスカッションを行う。こうした過程を通じて、農業経営分野の実証研究について習得するとともに、論文作成方法を身に付ける。 (目標) ・日本農業経営が抱えている特殊性を踏まえたうえで、農業経営体の経営収支を理解し分析できる。 ・現代日本農業の経営実態を踏まえ、持続可能な農業経営の発展について自ら考える。 ・農業経営分野における実証研究の方法を習得する。	

選 択 科 目	応 用 科 目	地域デザイン特論	(授業概要) 地域は、社会が劇的に変化する中で新たな局面を迎えている。地域の課題を解決するためには、地域の歴史や産業だけでなく、それらを取り巻く自然についても理解する必要がある。本科目では演習形式で地域が抱える課題について多面的に理解を深め、地域の現場へ赴き、地域の声を聴き、地域の現状を体験的に学ぶ。その後、地域デザインの理論から地域の歴史的背景や現状を分析し、地域特有の本質的な課題を発見することで地域が持続的に機能するデザインを立案する。 (目標) ・地域の仕組みを理解する ・地域デザインの理論より地域の特性を見つけ、理解する ・現場を知り、関係者との意見交換により地域の多様性を理解する	
------------------	------------------	----------	---	--